

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」 第4回 三陸沿岸道路エリア活性化検討会

日時：令和6年2月20日（火）13：30～

場所：盛岡市 マリオス 188 会議室

次 第

1. 開会

2. 議事

- 1) 前回の振り返り
- 2) モニターツアーの結果
 - (1) 旅行者
 - (2) 台湾教育関係者
- 3) Web アンケートの結果
- 4) 今後のスケジュール
- 5) その他

3. 閉会

資料－1：規約と名簿	1
資料－2：前回議事録	4
資料－3：旅行者モニターツアーアンケート結果	8
資料－4 -1：台湾教育旅行招請行程 概要	15
資料－4 -2：台湾教育関係者ツアーアンケート結果.....	17
資料－5：三陸沿岸道路沿線の伝承施設 認知調査結果（Web アンケート結果）	21
資料－6：今後のスケジュール.....	25
参考資料－1：旅行者モニターツアー日程	
参考資料－2：旅行者モニターツアーアンケート集計	
参考資料－3：台湾教育関係者モニターツアー日程	
参考資料－4：台湾教育関係者モニターツアーアンケート集計	

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」

三陸沿岸道路エリア活性化検討会 規約

令和 4 年 7 月 13 日

(名称)

第 1 条 この検討会は、三陸沿岸道路エリア活性化検討会(以下「検討会」という。)という。

(目的)

第 2 条 検討会は、三陸沿岸地域の新たな交流人口創出に向けた未来指向の地域活性化を図るため、観光コンテンツと周遊プログラムを踏まえたツアールートとともに、三陸沿岸道路の利用促進の検討を行うことを目的とする。

(委員)

第 3 条 検討会の委員は、別紙のとおりとする。

(座長)

第 4 条 検討会に座長を置く。

2 座長は、委員の確認によってこれを定める。

3 座長は、検討会の議長となり、議事の進行に当たる。

4 座長に事故があるときは、委員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第 5 条 座長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、検討会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

(会議)

第 6 条 検討会は、原則公開とする。

2 検討会の資料及び議事については、公開とする。ただし、座長が必要と認めるときは、その一部を非公開とすることができる。

(雑則)

第 7 条 この規定に定めるもののほか、検討会の運営に関して必要な事項は、座長が別途定める。

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」
三陸沿岸道路エリア活性化検討会 名簿

	氏名	役職	所属
1	阿部 憲子	女将	南三陸ホテル観洋
2	阿部 寿一	専務理事	(一財) VISIT はちのへ
3	石井 扶佐子	業務執行理事 駅長	(一社) 思惟の風 道の駅たのはた
4	今里 直樹	編集局次長兼コンテンツセンター長	河北新報社
5	太田代 剛	編集局次長兼論説委員会委員	岩手日報社
6	奥村 誠 (座長)	教授	東北大学災害科学国際研究所
7	北島 太郎	総括課長	岩手県復興防災部 復興推進課
8	紺野 純一	理事長	(一社) 東北観光推進機構
9	澤里 秀典	課長	青森県県土整備部 都市計画課
10	澤田 彰弘	副館長兼総務課長	東日本大震災津波伝承館
11	中村 浩彰	支部長	(一社) 日本旅行業協会 東北支部
12	樋口 保	課長	宮城県復興・危機管理部 復興支援・伝承課
13	平澤 光昭	専務執行役員	岩手県北自動車株式会社
14	松原 陽一	道路計画第二課長	東北地方整備局道路部
15	脇田 淳	営業部長	宮城交通株式会社

五十音順・敬称略

着色した委員は令和5年7月4日異動に伴う変更

「3.11 伝承ロード New Destination プラン」 第3回 三陸沿岸道路エリア活性化検討会

日時：令和5年4月19日（水）14時00分～
会場：ハーネル仙台 4F 「青葉」

意見交換内容

1)前回の議事録確認

2)ツアールート設定の考え方

●(一社)東北観光推進機構 紺野委員

- ・分類してツアールートを設定するのは重要だと思うが、現実と乖離している。こちらでテーマ・ルート設定をしても、旅行エージェントが大部分に関わらないと集客を促すことは難しい。
- ・観光資源で隠れたもの、観光素材としてあるものをいかにマーケットに知らしめるかが大事で、そこに力を注ぐべきで、ルート設定に重きを置いてもあまり効果・意味がない。

●奥村座長

- ・見落とし・活用できるものを理解してもらい広げる、深みをつけることが大事で、ツアールートは手掛かりにすぎない。

●事務局

- ・ルートではなくコンテンツを重要視している。
- ・コンテンツとコンテンツを繋ぎ合わせた時にどんなテーマが生まれるのかという思いでルートの考え方を提案した。

●宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 樋口委員

- ・教育旅行では、被災地での震災学習にニーズがある。
- ・首都圏・中部以西への教育旅行の誘致の課題として、先生方、旅行を請け負うエージェント側が東北に見識がなく、学校へ売り込み方がわからないことが挙げられる。
- ・SDGsと探求型の学習が現在の教育旅行の主流。
- ・旅行前・旅行中の学習に加え、旅行後の学習までを一貫して行いたい学校が増えている。旅行後のフォローをどうしていくかが肝になる。
- ・現在大阪近辺の学校では、広島・長崎といった平和教育が主流。今後起こりうる南海トラフ地震を見据え、平和教育に加えて震災学習を取り入れたいという学校もあるので、アプローチが必要。

●河北新報社 今里委員

- ・ターゲットは具体的にどのようなものか。

●事務局

- ・ターゲットは一般旅行者と特定顧客(教育関係者・企業の防災関係者等)の2つである。

●河北新報社 今里委員

- ・弊社では若者を取り込むことを課題としている。若者が関心を持つ仕掛けがあるといい。

●岩手日報社 太田代委員

- ・教育旅行をターゲットにするなら探求型のルートが重要。
- ・岩手県では映画「すずめの戸締まり」効果で若者の来訪者やインバウンドが増加している。テーマを決める時にそういった流行等にストーリーを絡めていくと良い。日本の若者向け・インバウンド向けなどとターゲットを明確に分けない方がいい場合もあると思う。

●(一社)日本旅行業協会 東北支部 中村委員

- ・樋口委員、太田代委員がおっしゃる通り、教育旅行をターゲットにするなら探求型のルートが重要。学習指導要領の中で「探究」が求められているため、深いテーマを設定し先生方にもしっかりと勉強してもらう。
- ・震災当初のテーマはハード部分を見てもらうことであったが、現在は防災・減災等について考える流れに変わってきている。
- ・震災遺構を例に挙げると、内容・見方が説明する人によって異なるため、テーマごとに予め説明者の整理をしておき、視察希望の学校・企業等からの問合せに的確に対応・提案できるような仕組みが必要。

●岩手県北自動車株式会社 平澤委員

- ・東北での周遊観光は少ないのが現状。そのため、一般旅行者をターゲットにする場合は観光をメインにして、震災のコンテンツを少し加えた作り方をすれば集客が見込めると思う。
- ・教育旅行・企業研修をターゲットにする場合、教育旅行の可視化が重要。企業の間では危機管理を学びたいというニーズがある。
- ・コロナ禍後で旅行需要が高まる昨今、この2つを上手く活用し集客に繋げていくと良い。

●奥村座長

- ・教育旅行について、地元の子供たちの学びにどうつなげるかを考えた方が良い。一方向ではなく両方向で学び深め合えるようなコンテンツが必要。
- ・まずは東北に来てもらうことでひとつのきっかけになると良い。

3)モデルツアーのルートについて、4)モニターツアーの募集

●岩手日報社 太田代委員

- ・第一印象として、あちこち回るよりは1箇所1箇所深く、目的を持って回った方がいいと思う。

●事務局

- ・コンテンツそのものをただ見学するのではなく、語り部・説明する方の話を聞いてまわることを想定している。

●岩手県復興防災部 復興推進課 北島委員

- ・ターゲットがよくわからない。一般旅行者なのか？

●事務局

- ・先ほども申し上げたが、ターゲットは一般旅行者と特定顧客(教育関係者・企業の防災関係者等)の2つを想定している。

●奥村座長

- ・つまりツアールートは6通り用意するということか？

●事務局

- ・一般旅行者向けが先ほどの3コースを想定。
- ・特定顧客向けはインバウンドを想定しており、今のところ提示したコンテンツをいくつか回ってもらうという所までしか考えていない。具体的には台湾の教育関係者をイメージしている。

●岩手県北自動車株式会社 平澤委員

- ・台湾の高校の先生方が三陸に何を求めているかをまとめた報告書があるので、共有したいと思う。

●事務局

- ・去年台湾の高校の先生方にセールスコールを行ったところ大変好感触だったため、今回の特定顧客向けはインバウンドに限定して考えている。

●(一社)東北観光推進機構 紺野委員

- ・コースと募集ターゲットが乖離している。ターゲットを一般旅行者ではなく旅行エージェントにしてはどうか。
- ・一般旅行者10名程度の募集では、リピーターに繋がったとしてもこの体験ツアーが蓄積していかない。委員の方々の意見を取り入れながら進めていくことが必要。

●(一社)日本旅行業協会 東北支部 中村委員

- ・三陸沿岸地域の動きは固定されているため、客層に合わせてどのようなコンテンツを入れるかが重要。
- ・一般旅行者向けはこれまでの知見を取り入れつつ、新しい施設は視察してしっかり検証することが必要。
- ・台湾の教員関係者向けは、震災学習と観光を半々にした方が良い。

●東日本大震災津波伝承施設 澤田委員

- ・ツアーを実施するにあたり、検討会の目的に沿った組み方が重要。検討会には様々な専門家が参加されているので、それぞれの得意分野のアドバイスを取り入れて検討した方が後戻りがないと思う。
- ・資料5のP2「モニターツアーのポイント③」に“普段見られない特別な施設見学”とあるが、特別なものを組み込んでしまうと、このツアーを定番化した際次回以降に繋がらない可能性がある。多くの方に参加してもらうという観点でツアーを組むのであれば、そこを考慮すべき。

●宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 樋口委員

- ・1箇所毎の滞在時間が短いのではないかと。場所を見せて歩く回り方と、じっくり震災伝承について考えてもらう回り方があると思う。
- ・一般旅行者向けは観光エージェントが作成する一般旅行を想定していると思うが、今は個人旅行が8割程度となっており旅行の自由度が高まっている。将来的には、個人旅行という観点も視野に入れるべき。
- ・モデルルートのテーマを3つあげているが、今回はこの3つということではよかったか？

- 事務局
 - ・その通り。

- 宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 樋口委員
 - ・一般旅行者向けでは観光エージェント、台湾の教員関係者向けでは地元の学校関係者との連携が必要となるため、宮城県としても協力していきたいと思っている。

- 河北新報社 今里委員
 - ・三陸沿岸地域は水産業が盛んであるため、食の視点でのアピールも織り込んでいただきたい。

- 事務局
 - ・ターゲットを一般旅行者にするか旅行エージェントにするか迷っていたが、エージェントに特化した方が波及効果がある様な気がしてきた。座長とも相談して検討したい。

- 奥村座長
 - ・現在の個人旅行者は本当に来てから行き先を決めるのか？

- 宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 樋口委員
 - ・先ほどの件は、観光の隙間時間の話をしていた。

- 奥村座長
 - ・万人受けを狙うとどこにでもある様なプランになりがち。1箇所1箇所で満足度を高めるよりも、多少の当たり外れがあっても良いので、選択幅のあるものに特徴を持たせた上で提供し、客側に選択してもらおう。自由度が鍵。

- (一社)東北観光推進機構 紺野委員
 - ・震災前はある程度定番の旅行商品を旅行エージェントが作成し提供することが多かったが、インターネットの普及でお客様側の情報量が増え、観光に対する概念が多様化している。
 - ・どういうスタンスで、どのようにマーケットに提供するかがポイント。震災伝承のマーケットが縮小してきている昨今、そこがファジーだと次に繋がらない。この点の議論を深めていくことが極めて重要。



旅行業者モニターツアー アンケート結果

0. モニターツアーのルート
1. モニターツアー参加者属性
2. モニターツアーを通して、印象に残った施設
3. カテゴリー別「評価できる点」と「課題」

【参考】ツアー全体に対する自由意見

1) Aルート 仙台～気仙沼ルート 9月7日(木)～8日(金)

・テーマ：産業復興と賑わいの創出

仙台駅発 = 野蒜ヶ丘団地 = 石巻南浜津波復興祈念公園 =
 シーパルピア女川 = 宿泊 = 道の駅「さんさん南三陸」 =
 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 = 気仙沼内湾地区 =
 すがとよ酒店 = 道の駅「かわさき」 = 一ノ関駅着

2) Bルート 陸前高田～宮古ルート 8月31日(木)～9月1日(金)

・テーマ：三陸リアス式海岸と震災の教訓を知る

一ノ関駅 = 東日本大震災津波伝承館 = 三陸鉄道（盛駅～釜石駅）
 = いのちをつなぐ未来館 = 宿泊 = 鵜住居川水門見学 =
 大槌町文化交流センター「おしゃっち」 = 浄土ヶ浜 =
 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅着

3) Cルート 宮古～八戸ルート 8月24日(木)～8月25日(金)

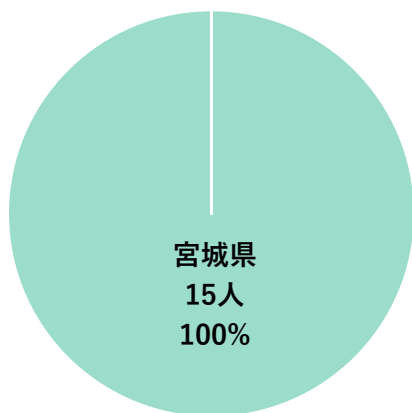
・テーマ：自然が織りなす景観と津波防災を学ぶ

八戸駅発 = 八戸市みなと体験学習館 = 道の駅「いわて北三陸」 =
 小袖海岸 = 普代水門 = 宿泊 = 北山崎断崖クルーズ =
 たろう「学ぶ防災」 = 浄土ヶ浜 = 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅着

1. モニーツアー参加者属性

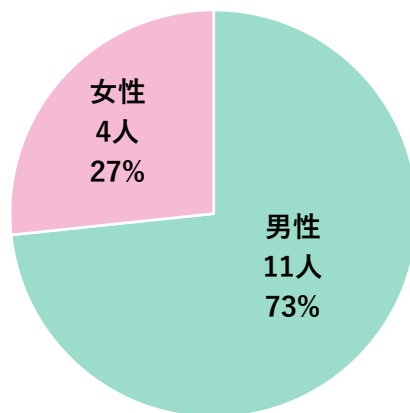
- 令和5年8月下旬から9月上旬にかけて、設定した3ルートでモニーツアーを実施。
- ルート毎に5名が参加し、アンケート調査で印象に残った施設を回答。
- 参加者は全員宮城県在住で、男性73%、女性27%。
- 満足度は、回答いただいた中では概ね満足されている。

[お住いの地域]



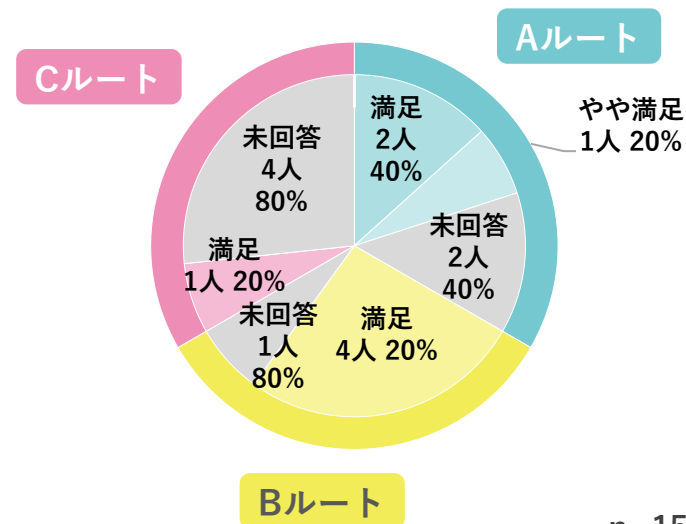
n=15

[性別]



n=15

[満足度]



n=15

2. モニターツアーを通して、印象に残った施設

- 【カテゴリー】 毎に印象に残った割合（印象に残った場所／施設数）を分析。
- 「伝承」、「学習」、「文化」施設が印象に残っている模様。
- ただし、後述するが「印象に残った場所」必ずしも、「好印象」ではないことに留意が必要。

ルート	施設名	【カテゴリー】	【自治体】	印象に残った場所【回答数】	【第3分類】
Aルート (N=5) (P=8)	野蒜ヶ丘団地	インフラ施設	宮城県	2	
	みやぎ東日本大震災津波伝承館	伝承施設	宮城県	2	●
	シーパルピア女川	商業施設	宮城県	0	
	震災学習プラン（いりやど）	学習施設	宮城県	3	
	南三陸311メモリアル	伝承施設	宮城県	1	●
	道の駅「さんさん商店街」	商業施設	宮城県	0	
	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	伝承施設	宮城県	2	●
	すがとよ酒店（被災からのストーリー）	学習施設	宮城県	1	
Bルート (N=5) (P=7)	東日本大震災津波伝承館	伝承施設	岩手県	1	●
	三陸鉄道（盛駅－釜石駅）	交通機関	岩手県	1	
	うのすまい・トモス	伝承施設	岩手県	4	●
	釜石鵜住居復興スタジアム	文化施設	岩手県	3	
	岩崎女将の講話（宝来館）	学習施設	岩手県	4	
	鵜住居川水門	インフラ施設	岩手県	1	
	大槌町文化交流センター「おしゃっち」	伝承施設	岩手県	2	●
Cルート (N=5) (P=6)	八戸市みなと体験学習館	伝承施設	青森県	2	●
	小袖海岸（海女の素潜り見学）	観光施設	岩手県	3	
	普代水門	インフラ施設	岩手県	1	
	太田名部防潮堤	インフラ施設	岩手県	0	
	北山崎断崖クルーズ	観光施設	岩手県	0	
	たろう学ぶ防災ガイド	伝承施設	岩手県	4	●

N=15人 P=21カ所

[印象に残った施設：カテゴリー別]

カテゴリー	施設数 (A)	印象に残った場所(B)	印象割合 (B/A)
伝承施設	8	18	2.25
学習施設	3	8	2.66
観光施設	2	3	1.50
商業施設	2	0	0.00
文化施設	1	3	3.00
インフラ施設	4	4	1.00
交通機関	1	1	1.00

[印象に残った施設：自治体別]

自治体	施設数 (A)	印象に残った場所(B)	印象割合 (B/A)
宮城県	8	11	1.38
岩手県	12	24	2.00
青森県	1	2	2.00

3. カテゴリー別「評価できる点」と「課題」（その1）

- 施設に対する商品化に向けての感想から、「評価できる点」と「課題」を整理。
- 伝承施設では、現状で観光資源としてのポテンシャルを有するものの、課題として見せ方などの工夫が必要との意見をj得ている。
- 観光施設については悪天候時の代案が必要j性、商業施設は内容に対する課題が提示されている。

カテゴリー	施設名	評価できる点	課題
伝承施設	八戸市みなと体験学習館	非常食を食べられるという点にはない視点である。	ターゲットを明確にし、他の施設との差別化が必要。
	南三陸311メモリアル	「考えさせる」「話し合いをさせる」ことで、理解が深まる。観光の場所としても良く、リピートできる場所だと思う。	—
	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	実際の遺構を見ながら学生の語り部による案内は、商品としてもポテンシャルが高いと思う。	—
	みやぎ東日本大震災津波伝承館	ターゲットが明確であり、震災を経験していない人向けの入り口には最適。ツアー商品化しやすいコンテンツで団体の立寄場所となり得る。	解説員の説明技術向上、VRの精度向上など改善が必要。交通アクセスにも課題がある。
	たろう学ぶ防災ガイド【印象に残った場所】	既に完成されたコンテンツだと思う。教育旅行でもすぐに紹介・コース組込みができる。	外国の方に対して、PRを強化する必要がある。
	東日本大震災津波伝承館	展示や説明に工夫があり、ガイドを聞いたうえで見学をjすると理解が深まる。ストーリー性jがあつて良い。道の駅と併設なのも良い。有料化が妥当。	他の伝承施設との差別化、団体だけでなく、個人向けのガイド設定があるとより理解しやすい。
	うのすまい・トモス【印象に残った場所】	小さな施設ではあつたが、沢山のことを学べる場所。防災学習だけでなく、トイレ・バス駐車など多くの利用ができる点も良い。	周辺施設を巻き込んだPR素材（YouTube、Instagramなど）での発信も効果的。
	大槌町文化交流センター「おしゃっち」	市民の「日常」を知れる場所でもあることが魅力的な施設。日常で活用しながら伝承されていることは、これからも伝承していくという点では効果的。	日常の中で防災を学べる施設として、施設内での紹介の他に周辺ガイドやフィールドワークと組み合わせても良い。
インフラ施設	野蒜ヶ丘団地	講話の内容は良く、ガイドとセットであれば商品化もあり得る。団体を受け入れることができると知ってもらえる機会になるだろう。	見学施設を関連するものを含め広範囲にし、誰に向けてのものなのか明確にする必要がある。
	普代水門	実際の津波の高さを体感でき、視察・学習には良い。	事前学習（予備学習）が必要なのは難しく、ガイド技術向上も必要。ターゲットも不明確。
	太田名部防潮堤	—	普代水門と関連づけた施設とした方が良い。
	鵜住居川水門	釜石の地形や様々な話を聞いた上では効果的な立ち寄りスポット。様々な釜石のコンテンツをつなげると教育旅行に限らず、企業向けの企画を可能。	見学場所が野外のため、天候や気候に左右されるコンテンツだと思うので、他施設とパッケージにしたり、映像での照会があるとより分かりやすい。

- 施設に対する自由意見から、「評価できる点」と「課題」を整理。「印象に残った場所」でも課題の指摘あり。
- 伝承施設では、現状で観光資源としてのポテンシャルを有するものの、課題として見せ方などの工夫が必要との意見を得ている。
- 観光施設については悪天候時の代案が必要、商業施設は内容に対する課題が提示されている。

カテゴリー	施設名	評価できる点	課題
学習施設	震災学習プラン（いりやど） 【印象に残った場所】	外国からの訪問者も含め対応方法が多岐にわたり、説明内容は分かりやすい。	開催時間は検討が必要。
	すがとよ酒店	気仙沼コンテンツの1つとして一般団体やFITにもおすすめしたい。	—
	岩崎女将の講話（宝来館） 【印象に残った場所】	映像より女将さんの言葉で体験談をお話された方が心に響き、未来について話されている点にとっても感動。	—
観光施設	北山崎断崖クルーズ	絶景を体感でき、所要時間的にもコースにも組み込みやすい。	天候に左右されやすく、乗船容量も限定的であり教育旅行には不向き。
	小袖海岸（海女の素潜り見学） 【印象に残った場所】	FITにもおすすめしたいし、プライベートツアーにも活用可能。	ターゲットが限定的で、団体旅行は斡旋しにくい。
商業施設	シーパルピア女川	他地区とは異なる復興プロセスを伝えることが可能。そこに需要があるかもしれない。	遺構の管理・案内方法について再検討が必要。併設する施設の商品等も再検討が必要。
文化施設	釜石鶴住居復興スタジアム 【印象に残った場所】	周辺のプログラムと合わせて組み入れる事ができる事が良い点。のスタジアムをどう活用していくか学生達や企業研修で話し合うのも良い。	催しや他スポーツなどでも使用できる企画書があると具体的な話がしやすい。

※三陸鉄道（盛駅－釜石駅）については、コメントなし

- モニターツアーに対して、自由意見では好意的な意見が大半を占める。

【コンテンツに対する意見】

1. 商品への展開

- 今回学ばせて頂いた内容を基にどのような誘客が出来るかを検討したいと思います。
- 外国からのお客様に向け、コンテンツのブラッシュアップ、行程のルート設定等検討させていただきます。
- 伝承施設について、「ダークツーリズム」として普及させ、世界各国及び国内の方との交流のきっかけになる事ができればと思いました。

2. 教訓の伝承

- 東日本大震災の悲惨さや教訓は大事なのだが、震災を知らない子供達には悲惨な出来事だけを伝えるのではなく、「生き残る為の教訓や知識」を伝える施設が増えると良いと思う。
- 生き残る術を学べる事により、未来永劫大震災の事実を後世に残していけるのだと思う。これから先の未来に残すべきは、悲惨さのマイナス面より、プラスの発想が必要なのだと感じます。
- 世界中の人に発信すべき事象だと改めて感じました。
- だんだん風化していく中で、残すことを大切にしていってほしい。

【ツアーに対する意向や感想】

- 伝承館をめぐることで各地を比べることができて、セットでご案内するツアーも良いなと思いました。
- 田老での防災ツアーなど、体験ツアーがあれば是非参加したいと思います。
- 今後、ツアーを組む際のアドバイザーとして各旅行会社へ提案等お願いします。
- 訪問地の地域の皆さまとのつながり、語り部や会場の確保、行政とのつながりを南北に共有する働きかけは、重要な働きかけと思います。
- 短期間でまわると、施設比較や飲み込みが良いので為になりました。
- 現地に足を運んで学ぶということは、まさに百聞は一見にしかずの言葉通り換え難い経験であると思います。

台湾教育旅行招請行程 概要

日程:2023年9月24日(日)～9月27日(水) 4日間

○台湾の教育旅行の条件

- 1)学校交流(日本の高校との生徒間交流を行う)
- 2)体験学習(日本の社会学習の一環として、農業、漁業等の生活触れる)
- 3)民泊(日本の社会生活に触れる)

他に、観光等を含めて実施している。日本のように学年の生徒全員が参加するのではなく、希望者のみが参加する教育旅行となっている。

○招請旅行の概要

- 1)岩手県、宮城県にある施設を利用
- 2)震災伝承施設を中心に案内
- 3)学校交流が理解できるように配慮
- 4)体験学習の内容が把握できる場所を案内
- 5)日本の歴史や文化にも触れていただくように配慮

○台湾教育旅行招請者5名

中華民国台北市政府教育局総合企画科専員 高干婷
台北市立南港高級工業職業学校 校長 劉美慧
台北市 稻江護家(実業)学校 校長 郭淑蕙
台北市立士林高級商業職業学校 実習主任 林彩鳳
台北市立大安高級工業職業学校 学務主任 蕭為康

○3.11伝承ロード推進機構、東北観光推進機構、通訳添乗

3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事 原田吉信
東北観光機構 チーフ 伊達宗純
通訳添乗員 通訳案内士 大内 翠

台湾教育旅行招請行程

日程:2023年9月24日(日)~9月27日(水) 4日間

【スケジュール】

日付	場所	時刻	行程	備考
9/24 (日)	台北空港		台北発、飛行機で仙台空港	
	仙台空港	14:35	仙台着	
	仙台	15:15	震災遺構仙台市立荒浜小学校【震災学習】	
	松島	17:00	ホテル松島大観荘 着 宿泊	
9/25 (月)	松島	8:45	ホテル発	
		9:00	松島語り部クルーズ(丸文松島汽船)【震災学習】	
		10:00	松島高校おもてなしツアー(生徒案内) 瑞巖寺、円通院、福浦橋【学校交流・見学】	
		12:00	昼食(洗心庵)	
	東松島	13:30	奥松島KIBOTCHA漁業体験視察【体験学習】	
	石巻	15:00	みやぎ東日本大震災津波伝承館【震災学習】	
		15:30	石巻市震災遺構門脇小学校【震災学習】	
		17:00	いしのまき元気いちば 視察	
	南三陸	18:00	南三陸ホテル観洋 着 宿泊	
9/26 (火)	南三陸	8:45	ホテル発 南三陸病院【震災学習】経由	
		9:10	南三陸311メモリアル【震災学習】	
	陸前高田	11:00	昼食(ワタミオーガニックランド)	
		12:10	東日本大震災津波伝承館【震災学習】	
	遠野	14:00	岩手県立遠野緑峰高等学校訪問【学校交流】	
		15:15	遠野ふるさと村そば打ち体験等視察【体験学習】	
	花巻	17:30	花巻温泉紅葉館 着 宿泊	
9/27 (水)	花巻	8:00	ホテル発	
	平泉	8:40	中尊寺【体験学習・見学】	
	仙台	11:30	宮城県表敬訪問	
		12:00	昼食	
		13:30	仙台市表敬訪問	
	仙台空港	14:30	仙台国際空港 仙台発 飛行機で台北へ	
	台北空港	18:55	台北桃園空港着後、解散	



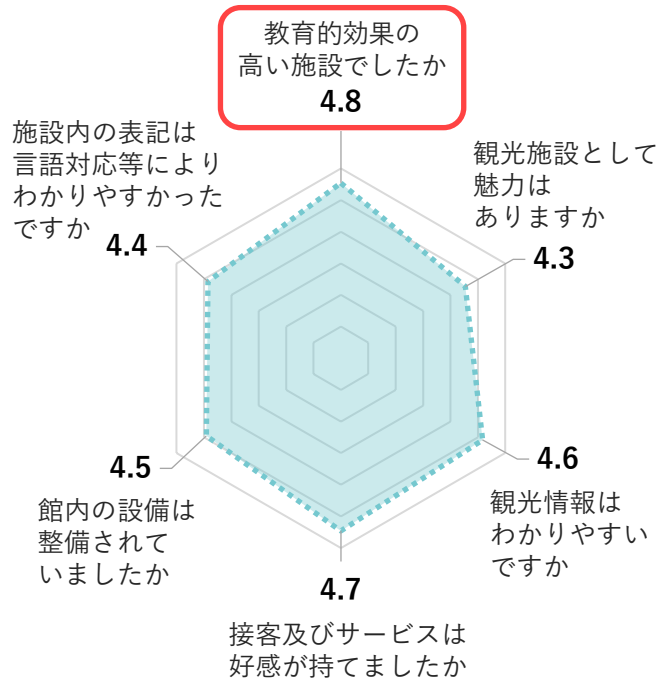
台湾教育関係者ツアーアンケート結果

1. カテゴリー別全体評価
2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」

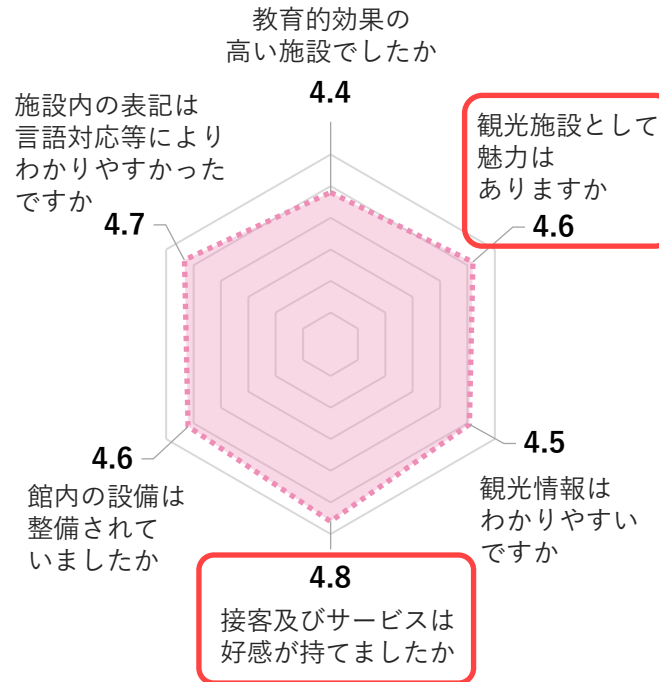
1. カテゴリー別全体評価

- 「教育的効果」としては、「震災学習」施設等が高く、その他「観光施設としての魅力」、「サービス」等は、「体験学習」施設等が高い評価を得ている。
- 学校交流は、設問項目全体的に高評価を得ている。

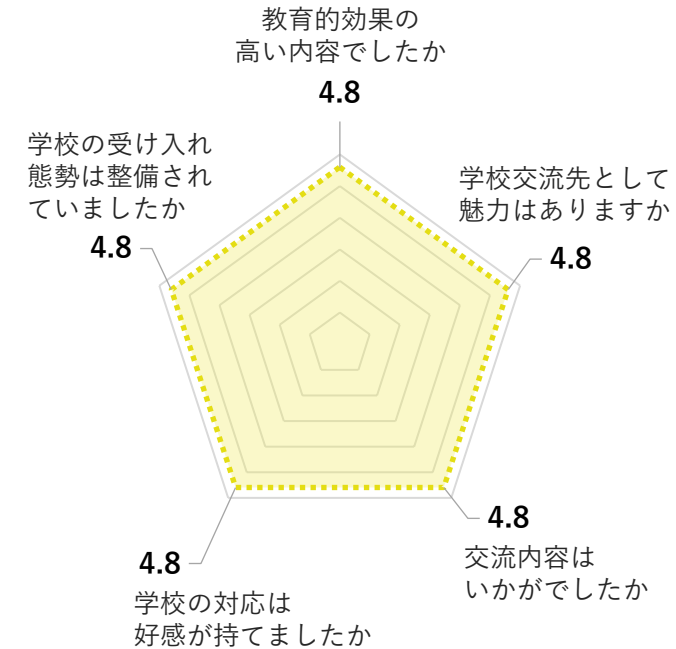
[震災学習]



[体験学習]



[学校交流]



[震災学習 施設等]

- ・ 震災遺構仙台市立荒浜小学校
- ・ 石巻市震災遺構門脇小学校
- ・ 南三陸311メモリアル
- ・ 東日本大震災津波伝承館
- ・ 松島語り部クルーズ
- ・ みやぎ東日本大震災津波伝承館
- ・ 南三陸病院

N = 7

[体験学習 施設等]

- ・ 奥松島KIBOTCHA
- ・ 中尊寺
- ・ 遠野ふるさと村体験学習

N = 3

[学校交流 施設等]

- ・ 松島高校おもてなしツアー
- ・ 遠野緑峰高校訪問

N = 2

計12

- 震災学習のおすすめ施設としては、大規模な「資料施設」、被災状況が残されている「遺構」が挙げられている。
- 台湾からの教育旅行に活用する際の改善点として「中国語での説明」、外観だけではなく、実際に見て・触れられるコンテンツが必要との指摘が挙げられている。

[震災学習]

N = 7

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
震災遺構 仙台市立 荒浜小学校	●	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育や生命教育を教える学習の場として活用できる。 ・3.11の日の津波の威力と破壊状況が分かりやすく、更に復興に日本の努力と苦勞が見られた。 ・震災予防の学習意義があり、学生がより命を大切にできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩室の提供。訪問者が消化できる程度の情報量。 ・QRでの翻訳等があれば、外国人のお客様はもっと理解ができる。
石巻市 震災遺構 門脇小学校	●	<ul style="list-style-type: none"> ・津波は水害だけでなく、火災による災害も引き起こすので、この遺構は訪れる価値がある。 ・学生の防災意識を高め、命の尊さを解き明かすことができる。 ・被災した建物を残して解説、補助写真で表現し教訓を教え、未来に向かうことを世間に知らせ、生命教育の意義を極めて備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であるならば、少し空いている場所に椅子を置く。 ・ガイド通訳機を提供すると参観者が自分のペースで聞きたい解説を聴く。
南三陸311 メモリアル	●	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を見ながら問題について討論をすることで、内心の感想を言う機会があってよい。 ・「自然とは何か、生きるとは何か」を深く考えさせられた。諦めずに前向きに支え合っている姿が見れた。 ・中国語版の紹介が素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞、作業指示書学習、グループディスカッションだけでは教育旅行としての深さがやや不足。
東日本大震災 津波伝承館	●	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の科技設備を使い、津波の情報を呈し、相当魅力で人を惹きつける。 ・学生の防災意識を高め、命の尊さを解き明かすことができる。 ・史書データ及びビッグデータ分析の整理整頓。 	—
松島語り部 クルーズ	●	<ul style="list-style-type: none"> ・日本三景のひとつ・松島を知る ・松島の島々は津波発生時に防潮堤の役割を果たしたこと、津波発生時の状況を理解することができた。 ・松島湾の景色を案内するのはすばらしく、語り部の方との交流や感想を共有することは非常に勉強になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象が高校生の場合は、簡単に答えやすい質問とすることをお勧めします。 ・語り部は学生さん向けかと思う。当時の内容もっと生き生きと、鮮やかに話すこと。
みやぎ 東日本大震災 津波伝承館		<ul style="list-style-type: none"> ・最新技術を活用し当時の様子を伝えていくことは、将来の子供達にとって最良の歴史教育である。 ・学生の防災意識を高め、命の尊さを分かりやすくすることができる。 ・歴史データと写真は論理的で、教育的意義がある。 ・統計データの分析・整理が完全で具体的でわかりやすく、印象的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語での説明があればもっといい。
南三陸病院		<ul style="list-style-type: none"> ・台湾の学生にこの病院の再建は、台日双方が共同で完成したことを知ってもらう。 ・台湾の義援金で建てられた病院、南三陸の住民にとって不可欠な主要病院だと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の外でしか写真を撮ることができないなら、教育旅行として計画すべきではない。

2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」 – 体験学習・学校交流 – P.3

- 体験学習のおすすめ施設としては、「奥松島KIBOTCHA」、「中尊寺」が挙げられており、日本を代表する観光地が挙げられている。
- 体験・交流とも事前のレクチャーや体験・交流する際の十分な時間の確保が求められている。

[体験学習]

N = 3

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
奥松島 KIBOTCHA	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災、避難教育施設はとても創造的。学生さんにとっては魅力的で学習しやすい。 ・ 屋外で、キャンプやキャンプファイヤー等の活動は若い学生さんには身近で受け入れやすい。 ・ フロアごとに貸切できるので学校側の管理がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業体験や海上運動は、学生が十分に体験できるように計画する必要がある。
中尊寺	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産は学生に紹介することができる。 ・ 日本の歴史が感じられる場所です。 ・ 殿堂内で中国語解説が流れているのは素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行く前にバスの中で学生さんに歴史の意義を説明すべき。
遠野 ふるさと村		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が日本の伝統食作りを実際に体験できる機会を与える。 ・ 日本の伝統的な家屋建築を見学させたり、現地環境の自然を体験させたりすることができます。 ・ 接客スタッフの熱意、解説がはっきりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり学生さんを惹きつけることがない。 ・ もう少し明かりを明るくすることをお勧めします。 ・ そば打ちを実際にどのようにするのかお手本を見たかった。

[学校交流]

N = 2

施設等	参加者 おすすめ	主な魅力的な点	主な改善点
松島高校	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生ガイドから直接話を聞けるのが学生にとって印象に残り、歴史の魅力を感じることができる。 ・ 歴史古跡はすべて教育的意義があり、学ぶ価値がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が訪問する際は、十分な時間をお土産屋さんを訪れることをお勧めします ・ 対象が高校生の場合は、簡単に答えやすい質問を設計することをお勧めします
遠野緑峰高校		<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長先生や副校長先生の説明が相当分かりやすい。 ・ 学生さんの交流機会を提供できる。 ・ 台日双方の教育交流を行い、互いの教育環境と設備を理解し、異なる教育方式を体験することができる。 	—



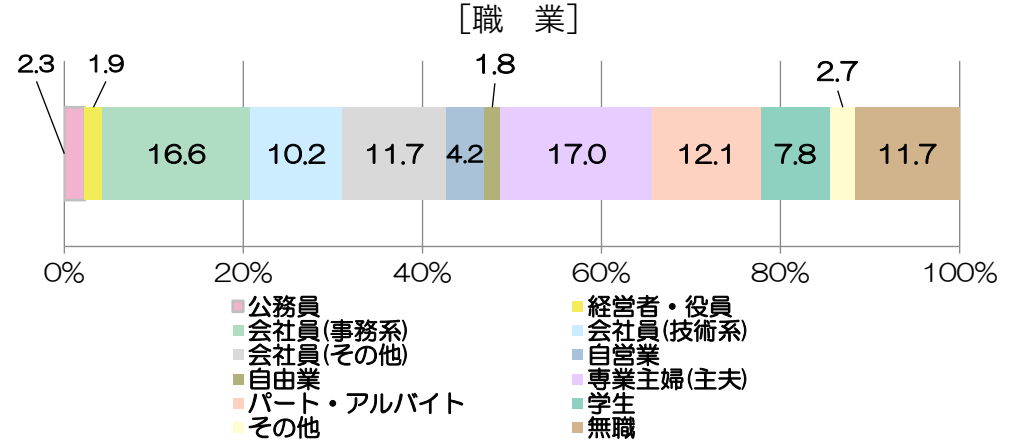
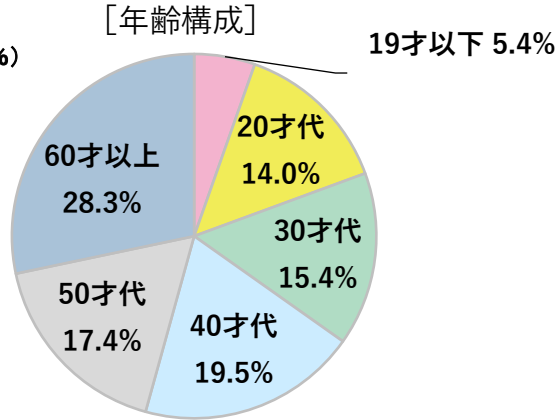
三陸沿岸道路沿線の伝承施設 認知調査結果（Webアンケート結果）

1. 震災伝承施設の認知度
2. 震災伝承施設別の認知度・訪問経験・(再)訪問希望
3. 震災伝承施設への関心等と三沿道の認知度

1. 震災伝承施設の認知度

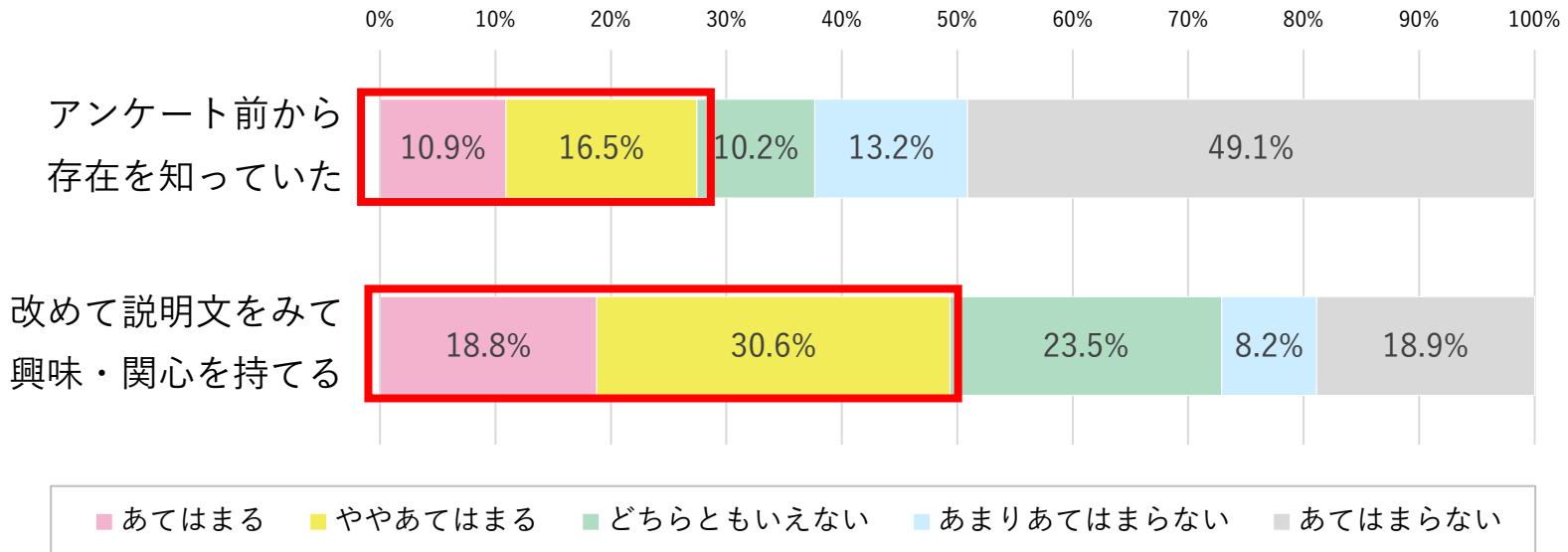
【属性について】対象者：首都圏（1都3県）5,000人

- ・調査対象者数 n=5,000 (100%)
- ・1都3県：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
- ・男女同数



- 本調査実施前の震災伝承施設認知度は27%程度。
- 本調査を経て認知度は49%まで向上しており、丁寧な説明などにより調査実施は認知度の向上に寄与することが確認できた。

[震災伝承施設の認知度] n=5,000



※アンケート調査票で施設ごとの説明を行っている

- 認知度が高い施設（5.7～13.4%）でも訪問経験は半分以下（2.2～2.7%）。
- 東日本大震災津波伝承館や大川小学校等、各項目上位の施設がある一方、認知度は上位ではないが、南三陸311メモリアル等、今回の調査で今後訪れたいと認識された施設もある。

[認知度（知っている施設）] 上位5施設

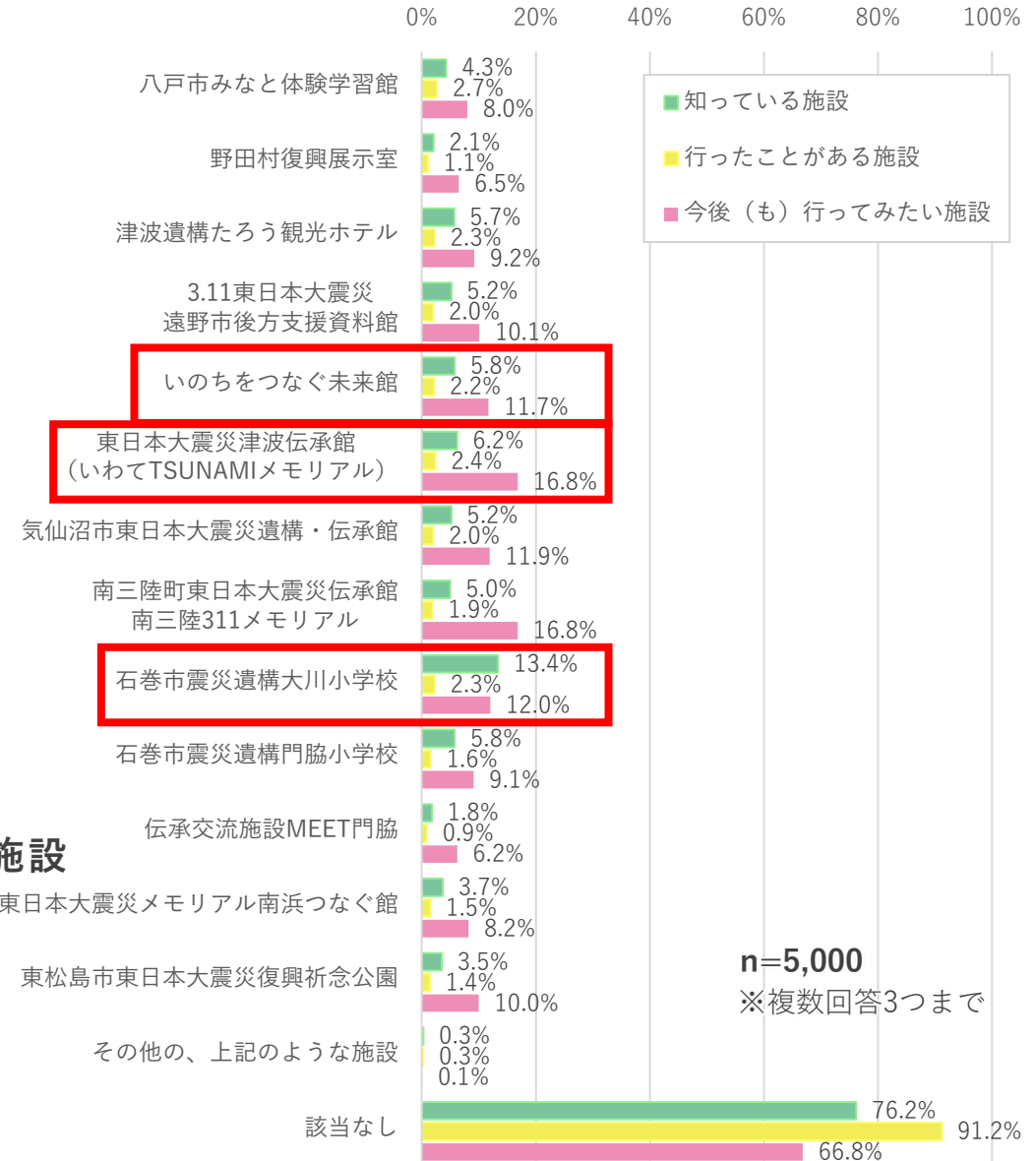
施設名	回答数	割合
石巻市震災遺構大川小学校	671	13.4%
東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）	312	6.2%
いのちをつなぐ未来館	292	5.8%
石巻市震災遺構門脇小学校	292	5.8%
津波遺構たろう観光ホテル	286	5.7%

[訪問経験（行ったことがある施設）] 上位5施設

施設名	回答数	割合
八戸市みなと体験学習館	136	2.7%
東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）	119	2.4%
石巻市震災遺構大川小学校	116	2.3%
津波遺構たろう観光ホテル	115	2.3%
いのちをつなぐ未来館	112	2.2%

[(再)訪問希望（今後(も)行ってみたい施設）] 上位5施設

施設名	回答数	割合
南三陸町東日本大震災伝承館 南三陸311メモリアル	841	16.8%
東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）	838	16.8%
石巻市震災遺構大川小学校	598	12.0%
気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	595	11.9%
いのちをつなぐ未来館	585	11.7%

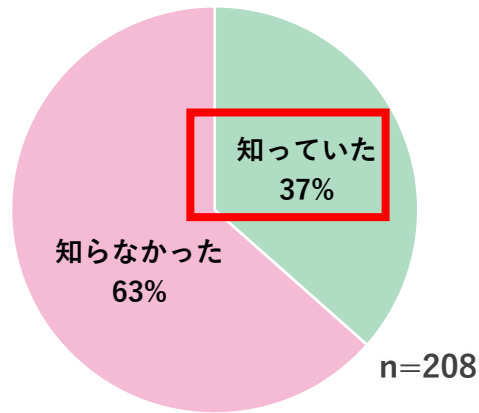


n=5,000
※複数回答3つまで

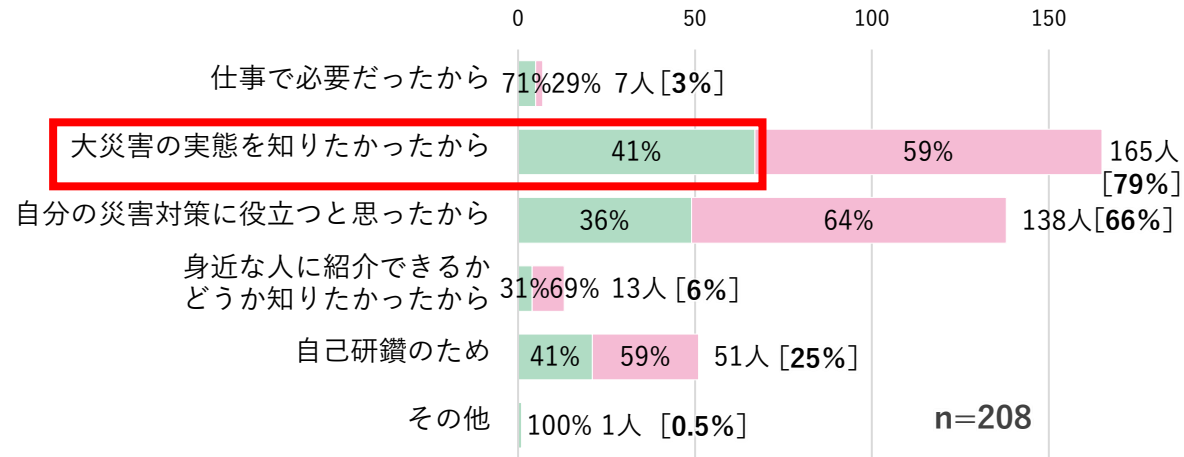
3. 震災伝承施設への関心等と三沿道の認知度

- 本調査の回答者で三沿道の認知度は37%程度。
- 「家族と一緒にいきたい」、「実態を知りたい」、「伝承施設を目的地にしている」方の三沿道認知度は回答者全体の三沿道の認知度より、高い傾向にある。
- 興味・関心ある理由では大災害の実態を知りたいが79%、家族と一緒にいきたいが66%、行くタイミングは震災伝承施設の近くに行ったときについでにが48%と多い。

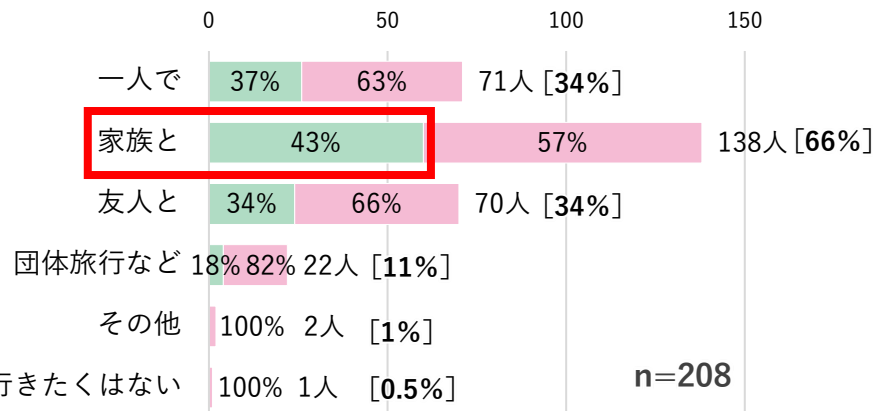
[三沿道の認知]



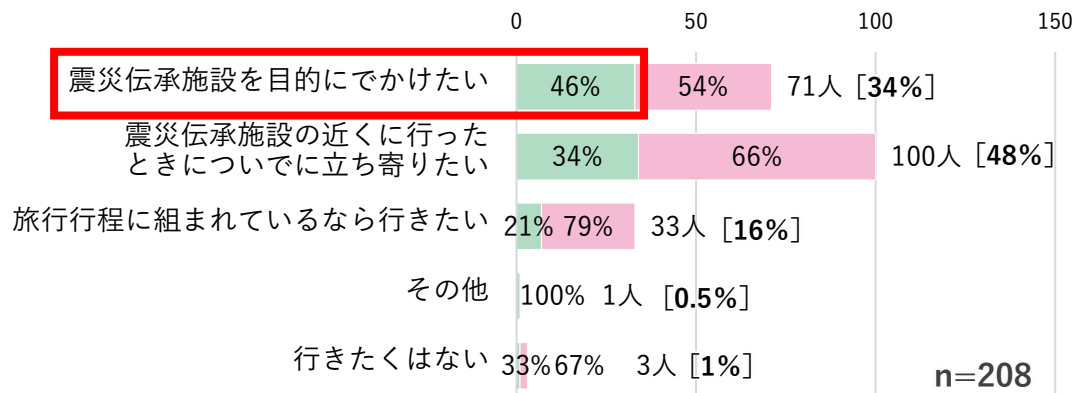
[震災伝承施設に興味・関心がある理由] ※複数回答可



[震災伝承施設と一緒にいきたい人] ※複数回答可



[震災伝承施設に行きたいタイミング]



三沿道の認知
■ 知っていた
■ 知らなかった

令和4年7月13日 第1回検討会
(規約、地域現況 他)

同 12月2日 第2回検討会
(三陸沿岸自治体関係者 意見交換結果 他)

令和5年4月19日 第3回検討会
(ツアールート、モニターツアー募集 他)

令和6年2月20日 第4回検討会
(モニターツアー結果、ニーズ調査結果 他)

同 7月中旬 第5回検討会
(映像による情報発信 活性化フォーラム 他)

モニターツアーのルートについて

○Aルート 宮城県（仙台～気仙沼）ルート （9月7日（木）-8日（金））

テーマ；産業復興と賑わいの創出

仙台駅発＝ 野蒜ヶ丘団地 ＝ 石巻南浜津波復興祈念公園

＝シーパルピア女川 ＝ 宿泊

＝ 道の駅「さんさん南三陸」 ＝ 気仙沼市東日本大震災遺構・伝

承館＝ 気仙沼内湾地区 ＝ すがとよ酒店 ＝ 道の駅「かわさき」

＝ 一ノ関駅着

【1日目】9月7日（木）

時間	行程	コンテンツ概要
9:00	JR 仙台駅（東口）	
	移動（60分）	
10:00～ 11:00	【野蒜ヶ丘団地】《復興》 SAY'S 東松島 山縣氏の座学及び団 地案内	大規模な切土による高台集団移転地となっ た野蒜ヶ丘団地。JR 仙石線の移設や環境と の調和などを実施した区画整理事業
	移動（30分）	
11:30～ 12:40	【石巻南浜津波復興祈念公園（みや ぎ東日本大震災津波伝承館含む）】 《慰霊・伝承》	震災の追悼と鎮魂、復興の象徴とした「復 興祈念公園」と宮城県の津波伝承館があ る。
	移動（10分）	
12:50～ 13:50	【いしのまき元気いちば】《昼食》	賑わいを創出した旧北上川の堤防整備と一 体的に整備した観光交流拠点施設。（食事 と物販施設）
	移動（30分）	
14:20～ 15:50	【シーパルピア女川】《復興》 女川町観光協会による座学と案内	大規模嵩上げ盛土を行い、防潮堤のない景 観を創出した賑わい拠点。女川駅前広場か ら港に一直線に伸びるレンガみちの両側を 中心に観光物産拠点施設がある。
	移動（60分）	
16:50	【宿泊：南三陸町】	南三陸まなびの里いりやど
17:00～ 17:40	ミーティング	
18:00～	夕食	
20:00～ 20:45	震災学習プラン	いりやどオリジナルの震災学習動画を鑑賞 し、南三陸町の震災前の姿と震災後どのよ うに前を進んでいったのかを学ぶ。

【2日目】9月8日（金）

時間	行程	コンテンツ概要
9:00	【南三陸：宿泊施設出発】	
	移動（10分）	
9:10 ~ 10:10	【道の駅「さんさん南三陸」《買物・伝承》	建築家「隈研吾氏」監修のもと設計された施設。物販施設と R4 年 10 月に開館した震災伝承施設「南三陸 311 メモリアル」が特徴。
	移動（30分）	
10:40 ~ 12:10	【気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館】《伝承》	気仙沼向洋高校旧校舎を震災遺構として活用した気仙沼市の震災伝承施設。被災直後の映像や被災した市民の活動を伝える。
	移動（20分）	
12:30 ~ 13:30	【気仙沼内湾地区】《昼食・観光・買物》「nine one」にて昼食	甚大な被害を受けた内湾地区。「気仙沼の顔」であった内湾地区のにぎわい再生を図るための拠点となる商業施設エリア。
	移動（10分）	
13:40 ~ 14:40	【すがとよ酒店】《復興・買い物》	震災当時の状況を、写真を交えながら伝える。
	移動（50分）	
15:30 ~ 15:50	【道の駅「かわさき」】《休憩》	岩手県の国道 284 号線沿い、北上川近くの北上大橋のたもとにある道の駅。地元のお母さんたち自慢の無添加加工食品が有名。
	移動（20分）	
16:10	JR 一ノ関駅到着・解散	

○Bルート：岩手県沿岸南部（陸前高田～宮古）ルート

（8月31日（木）-9月1日（金））

テーマ：三陸リアス式海岸と震災の教訓を知る

起点：一ノ関駅 = 東日本大震災津波伝承館

= 三陸鉄道：盛駅～釜石駅 = いのちをつなぐ未来館

= 宿泊

= 鶴住居川水門見学 = 大槌町文化交流センター「おしゃっち」

= 浄土ヶ浜 = 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅（終点）

【1日目】8月31日（木）

時間	行程	コンテンツ概要
9:30	JR 一ノ関駅出発	
	移動（100分）※休憩10分含む	※道の駅「むろね」
11:10～ 12:20	【東日本大震災津波伝承館（高田松原復興祈念公園含む）】《伝承・慰霊》 伝承館見学 11:30～12:00	震災の事実と教訓を次世代に継承していくための拠点施設。高田松原津波復興祈念公園内で、国営追悼施設と道の駅「高田松原」と一体的に整備された伝承館。
	移動（30分）	
12:50～ 14:00	【三陸鉄道：盛駅（13:00 発）～釜石駅（13:51 着）】 《弁当・観光》	風光明媚な三陸リアス式海岸を満喫できる車窓景観を堪能しながら走る列車。
	移動（20分）	
14:20～ 15:50	【いのちをつなぐ未来館】 《伝承》 【釜石鶴住居復興スタジアム】 《復興》	鶴住居小と釜石東中の生徒全員が助かった物語（釜石の奇跡）を中心に伝える釜石市震災伝承施設。 2019 ラグビーワールドカップの会場になった鶴住居小学校と釜石東中学校の跡地に整備されたスタジアム。
	移動（10分）	
16:00	【宿泊：釜石市内】	浜辺の料理宿 宝来館
16:00～ 17:00	ミーディング	
17:30～ 18:30	岩崎女将の講話 《伝承》	震災当時の釜石や宿の様子。どのように復興してきたかをスライドや映像を用いながら説明。

【2日目】9月1日（金）

時 間	行 程	コンテンツ概要
9:10	宿泊施設出発	
	移動（5分）	
9:15 ～ 10:20	【鶴住居川水門】《防災》 行政による説明あり	高さ 14.5m、全長 236m にもなる巨大水門。津波を受け止める 5 つのカーテンウォールとゲートで構成されている。
	移動（10分）	
10:30 ～ 11:30	【大槌町文化交流センター「おし ゃっち】《伝承》 行政による説明あり	被災前の大槌町の町並みを再現したジオラマや震災からの復興の過程などをパネル展示している町の震災伝承施設。
	移動（50分）	
12:20 ～ 13:20	【浄土ヶ浜レストハウス】 《昼食・観光》	三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置。三陸沿岸を代表する景勝地。
	移動（50分）	
14:10 ～ 14:40	【道の駅「やまびこ館】《休憩》	岩手県の国道 106 号線沿い、駅名の由来は、「こだま」が返ってくる山間のロケーションから命名。
	移動（50分）	
15:30	JR 盛岡駅到着・解散	

○Cルート：岩手県北部と青森県（宮古～八戸）

（8月24日（木）-25日（金））

テーマ：自然が織りなす景観と津波防災を学ぶ

起点：八戸駅 = 八戸市みなと体験学習館

= 道の駅「いわて北三陸」 = 小袖海岸 = 普代水門

= 宿泊

= 北山崎断崖クルーズ = たろう「学ぶ防災」 = 浄土ヶ浜

= 道の駅「やまびこ館」 = 盛岡駅（終点）

【1日目】8月24日（木）

時間	行程	コンテンツ概要
10:40	JR八戸駅出発	
	移動（30分）	
11:10～ 12:10	【八戸市みなと体験学習館】 《伝承》	八戸港を見下ろす館鼻公園内（旧八戸測候所跡）にある。市の歴史・文化と東日本大震災を伝える震災伝承施設。
	移動（50分）	
13:00～ 13:50	【道の駅「いわて北三陸」】《昼食》	久慈広域のゲートウェイとして久慈北ICに隣接して整備。久慈市、洋野町、野田村、普代村の情報や魅力を発信。
	移動（20分）	
14:10～ 15:00	【小袖海岸】《観光》 海女さんの素潜りを見学	NHK朝ドラ「あまちゃん」で有名な「北限の海女」の素潜り漁の実演が見学できる。
	移動（40分）	
15:40～ 16:20	【普代水門】《防災》 行政による説明あり	高さ15.5m、全長205mの東北一と称される水門が被害を抑え、犠牲者がなく「奇跡の水門」と呼ばれている。
	移動（5分）	
16:25～ 16:45	【太田名部防潮堤】《防災》	高さ15.5m、全長155mの防潮堤。普代水門と合わせ住宅地や集落中心部への津波到達を防いだ。
	移動（30分）	
17:15	【宿泊：田野畑村】	ホテル羅賀荘
17:20～ 18:20	ミーティング	

【2日目】8月25日（金）

時間	行程	コンテンツ概要
8:20	宿泊施設出発	
	移動（10分）	
8:30～ 9:50	【北山崎断崖クルーズ】《観光》	島越港を発着所として、北山崎までを約50分で一周。臨場感たっぷりに、田野畑の海のパンoramaを堪能できる。
	移動（30分）	
10:20～ 11:40	【たろう「学ぶ防災」】《防災・伝承》	宮古市の田老地区の現状や被災時の状況を防潮堤に上って災禍の記録と後世への教訓を伝える。
	移動（20分）	
12:00～ 13:10	【浄土ヶ浜】《昼食・観光》	三陸復興国立公園・三陸ジオパークの中心に位置。三陸沿岸代表の景勝地。
	移動（50分）	
14:00～ 14:30	【道の駅「やまびこ館」】《休憩》	岩手県の国道106号線沿い、駅名の由来は、「こだま」が返ってくる山間のロケーションから命名。
	移動（50分）	
15:20	JR盛岡駅到着・解散	

旅行者モニターツアー（Aルート）アンケート結果

実施日：令和5年9月7日-8日

1.お住いの地域

宮城					計
5					5

2.性別

男性	女性	計
4	1	5

3.満足度

満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満	未回答	計
2	1				2	5

4.印象に残った場所（複数回答可）

野蒜ヶ丘団地	みやぎ東日本大震災津波伝承館	シーパルピア女川	震災学習プラン（いりやど）	南三陸311メモリアル	道の駅「さきさん商店街」	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	すがとよ酒店
2	2	0	3	1	0	2	1

5.コンテンツの商品化に向けての感想

1) 野蒜ヶ丘団地（座学）

集団移転の成功例として興味深く拝見させていただきました。山縣様の講話内容が中心ではなく、どう再建したのか、その内幕について、お聞きできた点が良かったです。話題としては、素晴らしい内容をどうやってFIT層に訴求するかだと考えております。町の人が自治体として再建する様子は日本人ウケの良いコンテンツだと感じました。一方団体を受け入れることができると知ってもらえる機会になるだろうと思いました。早期再建の理由に「ベルトコンベア」がありましたので、現物に近いものが見ることができると良いと感じました。ガイドさんの講話とセットであれば見学地としては商品化もあり得ると思います。個人的には宮野森小学校を詳しく見てみたいと思いました。語り部さんのお話しは、大変な震災体験と防災準備の必要性について語られると思っていましたが、実際のお話しは大規模な集団移転を早期実現できた取り組みや工夫についての内容で大変興味深くお聞きしました。いろいろな人（市民・市長）の覚悟を感じました。車中案内の際に、土地や家などもう少しいろいろ見たい。40分が長い、短いか迷うところ。誰に向けてのものなのか明確に。

2) みやぎ東日本大震災津波伝承館

震災を経験していない人向けの入り口には最適な施設だと思います。理由としては、宮城県下の被災状況を把握できる為です。気になる点としては、解説員によって説明内容に濃淡がある点です。津波のリアルを伝えるべく、パネル展示・オーディオ・建物自身が津波の高さになっているなど、学習施設として良い商品になるだろうと感じました。インバウンド取込を狙うのであれば、交通に課題がありそうだと思います。伝承館はきれいで映像も見ることができて、団体の立寄場所としてはありだと思います。金沢の21世紀博物館はリピーターが多いと思いますが、通常展と臨時展とで内容分けるとか、VRがありましたが、あれをもう少し精度を良いものにするなど工夫は必要かなと思いました。施設はともきれいで、映像やタッチパネル動画の資料も充実しており、ツアー商品化しやすいコンテンツと感じました。ボードを読むこととしっかり説明してくれること、両方でより深く話がわかる。ターゲットが明確化している。あの頃を思い出します。「震災」であるとわかりやすい。

3) シーパルピア女川（座学・案内）

地区の復興特色を明確に説明することで、他地区とは異なる復興プロセスを伝えることが可能だと思います。そこに需要があるかもしれませんが、町の方針なので難しいですが、女川交番の管理方法については検討課題だと思います。旧女川交番の後世に引き継ぐための考え方に共感を覚えました。又、防潮堤を作らないなど他の町と異なっている箇所をメインに押し出して良いのではないかと感じました。復興に際し、「還暦以上は口を出さず」は非常にインパクトがあり、100年度の命を守るとした「女川いのちの石碑」も興味深かった。シーパルピアのお店内容はもったいないと思いました。せっかくきれいな通りをつくったのにもったいない。交番までの案内看板を分かりやすく作成した方が良くと思います。「海が見えるまちづくり」として、あえて防潮堤を作らず道路のかさ上げを行った点や、伝承施設を作らず女川交番を遺構として残している点は、ぜひたくさんのお客様に見てもらいたいのと思いますが、商品化の切り口やアクセスに少し問題を感じています。女川町の復興にかける思いが伝わります。女川交番が倒れたのもすごい。立ち位置、コンセプトが良くわからない。ご説明いただいた方の自分の実体験も含めての説明はすばらしかった。活気のなさが気になる。

4) 震災学習プラン（いりやど）

被災者・行政目線両方の側面からお話を聞くことが出来た為、非常に興味深かったです。講話のみも対応されているとお伺いさせていただいた為この部分も含め活用していけるのではないかと思います。避難所でのリアルな状況などを伺うことができ、日本人のみならず、外国の方へも伝わり易い内容ではないかと感じました。「一人一人が細胞」「生き残ったものが命をつなぐ」といったキーワードは心に残りやすいものでした。映像での説明・体験談、大変分かりやすく胸が締め付けられるような気持ちにもなり、感慨深かったです。木のぬくもりが感じられ、リーズナブルで清潔感のあるとても良い宿だと思います。近くにコンビニ等があれば良いのですが。申し訳ないですが、あの時間帯は厳しい。自分が講話される側になって感じた。せっかくお話いただいても入ってこない。

5) 南三陸311メモリアル

セミナーの方式が参加型の為、今までインプットした知識をアウトプットさせる点を訴求していくポイントだと思いました。ラーニング形式のコンテンツは見るのみではなく会話の中での気付きが大切だと感じました。道の駅や遺跡もあり、周辺施設と連携できており観光の場所として良いと思いました。リピートできる場所だと思います。動画の中での考える時間とても考えました。周りの人と話す時間というのもありそうでなく為になりました。建物や橋という目でも楽しむこともでき、南三陸の旅行なら組み込みたいツールだと思います。ここはリピーターも増えると思います。南三陸町は十分と思われるくらいの津波対策を行ってきたが東日本大震災はその想定を超える被害だったことから、「考えさせる」「話し合いをさせる」ラーニング形式の資料映像で、家族旅行、教育旅行に向いていると感じました。

6) 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館	<p>「考えさせる」ことはすばらしい。震災遺構、こちらは整備（除草とか）されている。各自治体の考え方に違いがある。</p> <p>生の声を聞くことの大切さや、震災のことをどう伝承していくかなど、様々なことに気が付かされる施設だと感じました。中学生による語り部等商品化に向けたポテンシャルは高いと感じました。</p> <p>向洋高校を使って、本物を見てガイドさん語り部さんの話をきき、とても印象に残りました。屋上から町の様子が伺えるのも、理解してもらう大きなポイントだと感じます。</p> <p>向洋高校は以前から行きたかった場所でした。屋上にのぼり実際ここまで津波がきたと聞いて本当にすさまじい出来事だったと感じました。やはりガイドさんありきで回るのがわかりやすいし、状況をより感じやすくなると思いました。</p> <p>復興の遅れが住宅地の空き地が多くなってしまった要因とお話や、自然災害が起こるスパンと人間が語り継ぐスパンの違い、ハザードマップは参考程度で信用してはいけない等、語り部の菊田さんのお話は非常に興味深くお聞きしました。</p> <p>語り部さんの「なぜ語り部をやっているのか」覚悟、思いが共有でき感動した。階上中学生の答辞がすばらしかった。心が震えた。この二日で一番伝わった。</p>
7) すがとよ酒店（講話）	<p>自分ごとの語り部活動をされているのがとても印象に残っております。すがとよさんに関しては、気仙沼コンテンツの1つとして取り上げていきたいと思えます。</p> <p>共生だけが復興の道ではないという事を学びました。実体験を交え、とても興味深かったです。</p> <p>これまでの伝承館とはまた違う雰囲気や近い距離での講話が心にひびくものがあるなと思いました。</p> <p>地域を盛り上げるための活動（かもめ祭り復活）や無償の語り部活動には頭が下がる思いです。すでに修学旅行を受けていらっしゃるとのことですが、一般団体やFITにもおすすめしたいと思えます。</p> <p>本人の家族の話で今までとはちがう印象でした。</p>

6. (一財) 3.11伝承ロード推進機構に対するご意見をお聞かせください。

2日間、貴重な学びの時間を設定してくださり、誠にありがとうございます。今回学ばせて頂いた内容を基にどの様な誘客が出来るかを検討したいと思います。

2日間ありがとうございました。知らない事をたくさん学ぶ機会となりました。短期間でまわると、施設比較や飲み込みが良いので為になりました。世界中の人に発信すべき事象だと改めて感じました。

伝承館をめぐることで各地を比べることができて、セットでご案内するツアーも良いなと思いました。また、二日目はテレビ局がいなかったので集中して見学できました。

施設を実際に見学するモニターツアーはとても勉強になりました。ぜひまた実施をお願いします。

だんだん風化していく中で、残すことを大切にしていってほしい。2日間お疲れ様でした。

旅行者モニターツアー（Bルート）アンケート結果

実施日：令和5年8月24日-25日

1.お住いの地域	宮城					計
	5					5

2.性別

男性	女性	計
3	2	5

3.満足度

満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満	未回答	計
4	0				1	5

4.印象に残った場所（複数回答可）

東日本大震災津波伝承館	三陸鉄道（盛駅-釜石駅）	うのすま い・トモス	釜石鶴住居復興スタジアム	宝来館（岩崎女将の講話）	鶴住居川水門	大槌町文化交流センター「おしゃっち」
1	1	4	3	4	1	2

5.コンテンツの商品化に向けての感想

1) 東日本大震災津波伝承館	<p>他の伝承施設との差別化がもっとできれば良いと感じた。今回は時間が短かったということもあるが、広田湾や一本松の見学時間を施設見学後ゆっくりとり、最後に陸前高田の現在の状況（人が増えてきている等）や松林の成育状況、最後に陸前高田が今後どのような場所になっていきたいか未来の話をしていくとストーリー性があると感じた。</p> <p>・展示資料が見やすい。わかりやすい。・ガイドの案内を聞いたうえで見学をすると理解が深まる。</p> <p>スペースを生かし、映像等、もう少し工夫された方が良い印象を受けました。道の駅と併設なのは良い点かと思えます。小学校へのアクセス等、工夫あると良いです。</p> <p>設立4年目と伺いました。展示や説明に工夫や理解しやすいようされていることがよくわかりました。今の現在の見学者が住んでいる場所に帰ったときの「ひなん場所をかくにんする」とか、「住んでいる場所のハザードマップを見る」ような投げかけがあると今も団体だけでなく、個人向けのガイド設定があるとより理解しやすいと感じました。また、施設維持の意味も含めて、有料化が打倒だと感じます。</p>
2) うのすま い・トモス	<p>ガイドの川崎さんが素晴らしかった。実際に震災を津波を体験したからこそ伝えられること、彼女の想いが感じられて、記憶に残る視察だった。実際の防災センターでの状況を話した後に、センターの壁の一部の展示、波の到達地点も目で見ることで、ストーリー性がある良かった。「キセキ」と「ヒゲキ」を双方を知ること、防災の大切さ、教育の大切さ、過去の話はうのみにしてはいけないなど、小さな施設ではあったが、沢山のことを学べる場所だと思う。</p> <p>・案内の川崎さんの体験談は説得力がある。・防災学習を学べる施設として価値がある。</p> <p>話し手が上手く、ご自身の体験を基に話されていた事。未来志向の考え方を基にプログラムを開発されている事。162名死亡の施設と生き残った小中学生とで対比できる事が良い点でした。</p> <p>防災学習だけでなく、トイレ・バス駐車など多くの利用ができる点は大きな良い点かと思えます。</p> <p>周辺施設を巻き込んだPR素材（YouTube、Instagramなど）での発信も効果的かと思えます。</p>
3) 釜石鶴住居復興スタジアム	<p>ラグビーW杯が行われた場所だけではなく、防災×スポーツどちらも学び楽しめる場所だと感じた。地元の木材や西洋芝の採用、1万8千人の避難場所、ヘリコプター4台の着地場所、スポーツだけでなく、子どもたちが学べるSDGsに関するコンテンツや地元の方々の防災の拠点であり、ここ釜石ならではの、釜石にしかないスタジアムであることを知ることができた。このスタジアムをどう活用していくか学生連や企業研修で話し合うのも良いと感じる。</p> <p>・スポーツ（ラグビー）を通じて震災、防災を学べる。・コンテンツを生かせば更に学習効果の高い学びができる。</p> <p>リアルに当日（ワールドカップ）の事が再現されている事。避難誘導の学習も出来る事。等で周辺のプログラムと合わせて組み入れる事ができる事が良い点かと思いました。</p> <p>ラグビー・イベントだけでなく、SDGsな地域親睦、釜石に来たと実感できる施設かと思えます。</p> <p>ラグビーだけでなく、催しや他スポーツなどでも使用できる企画書があると具体的な話がしやすいと感じました。</p>
4) 宝来館（岩崎女将の講話）	<p>他の施設や、今まで行った場所は、震災前や当時の様子について語る人が多かったが、未来について話されている点にとっても感動した。地元の学生が語る未来についてや、提灯や長岡の花火など復興に向けて地域がどのような活動をしているか知れる良い機会となった。今後の釜石が益々楽しみであり、個人的にもまた来たいと思ったが、想像以上に多くの観光コンテンツが豊富で、最後に岩崎女将の講話を聞くととても明るい気持ちになると感じた。</p> <p>・映像より女将さんの言葉で体験談をお話された方が心に響くかと思いました。</p> <p>・主旨はずれませんが女将さんの人柄の素晴らしさは十分感じました。</p> <p>波音を聞きながら客室での滞在及び入浴ができる事。海の幸を中心として料理が美味しい事（夕食・朝食共）。女将の講話は、ご本人様がお話が上手くない事に気がされていたが、良く思いが伝わりました。</p> <p>釜石の出来事、釜石の悲劇と奇跡、教育で人を助けられる。聞きたい人に話を聞いてもらい伝えていける大切な取り組みだかと思えます。お風呂はぬるめですが、バリアフリーであり、開放的で良い宿ですが、収容は少なそうです。</p> <p>実体験された方の講話はインパクトが強く感じるが、女将の和やかな雰囲気とこれからの夢で締めくくられて、前向きな気持ちとその夢に向かうことへ何か形で応援したいかと思いました。</p>
5) 鶴住居川水門	<p>水門の上に登ったり、中を見学することで防潮堤に対する見方が変わった。以前は防潮堤で景観がくずれてしまうと考えていたが、津波に対する行政や町民の想いがある作られてという経緯を知り、防潮堤の存在意義について深く考えることができた時間であった。</p> <p>一方で、小さな町や村は景観がくずれないよう、集団で高台移転をするという選択をした話を聞き、防災に対する意識の強さや団結力の強さを感じた。</p>

・三陸鉄道、トモス、スタジアム、水門、観光、スポーツ、震災防災、様々な釜石のコンテンツをつなげると教育旅行に限らず、企業向けの企画を可能です。

広大な長さの水門、町が守られていることが分かりました。手動かつ自動の開閉システムを全国的に取っている事など、水門には今まであまり目を向けませんでした。注目するきっかけとなりました。

釜石の地形や様々な話を聞いた上では効果的な立ち寄りスポットだと思います。天候不良などにどうなるかは気になりました。

観光素材にするには、見学場所が野外のため、天候や気候に左右されるコンテンツだと思いますので、他施設とパッケージにしたり、映像での照会があるとより分かりやすいと感じました。

6) 大槌町文化交流センター「おしゃっち」

震災の展示だけでなく、市民の「日常」を知れる場所でもあることが魅力的な施設だった。また、区分けや色分けもされており、震災のことを知りたい人、復興、未来について発信している展示は、町民からも見える明るいスペースに展示されており、様々な方が訪れやすい場所だと感じた。震災前の商店街を車で走ったり、模型で見れるのはこの施設ならではの事だと思ふ。

地域のコミュニティーと一体化している伝承施設が今後も増えていくと、伝承のイメージが随分変わります。

入場について、フリースペースとし、うまくフロアを使い分けていた事。13分間の映像が分かり易かった事。ジオラマを上手く使われている事。3Fの図書スペースで3.11関連の書物が多くある事が良い点でした。

町の交流施設として日常で活用しながら伝承されていることは、これからも伝承していくという点では効果的かと思ふ。町、地域ひとつひとつにお話はあると思うので、差別化やとちがよいかは、あまり意味はないことだと思うようになりました。

日常の中で防災を学べる施設として、施設内での紹介の他に周辺ガイドやフィールドワークと組み合わせてもいいと思ふ。

6. (一財) 3.11伝承ロード推進機構に対するご意見をお聞かせください。

三陸沿岸部は中々訪れる機会がなかったため、良い経験となりました。また、このような機会がありましたら是非再度参加したいと思います。今回感じたこと学んだことを社内でも共有し、様々な教育旅行で活用したいと考えております。貴重な機会を頂きありがとうございます。

東北以外の伝承活動、発信も必要かと思ふ。JATA組織は非常に利用価値があります。ご協力しますので是非進めていきましょう。

伝承施設について、「ダークツーリズム」として普及させ、世界各国及び国内の方との交流のきっかけになる事ができればと思ふ。2日間お世話になりました。ありがとうございました。

訪問地の地域の皆さまとのつながり、語り部や会場の確保、行政とのつながりを南北に共有する働きかけは、重要な働きかけと思ふ。現地からの持続的な取り組みの情報発信を今後もよろしくお願ひします。

貴重な研修に参加させていただき、ありがとうございます。これまで訪問したことがない施設だったことに加え、実体験されて方のお話を直接伺い、被害の悲惨さを知ったと同時に、起こりうる災害への心づもりを改めて意識することができました。また、ご旅行される方へ、各地域・施設への訪問のきっかけを提案していきたいと思ふ。

旅行者モニターツアー（Cルート）アンケート結果

実施日：令和5年8月31日

1.お住いの地域	宮城					計
	5					5

2.性別

男性	女性	計
4	1	5

3.満足度

満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満	未回答	計
1	0				4	5

4.印象に残った場所（複数回答可）

八戸市みなと体験学習館	小袖海岸（海女の素潜り見学）	普代水門	太田名部防潮堤	北山崎断崖クルーズ	たろう学ぶ防災ガイド
2	3	1	0	0	4

5.コンテンツの商品化に向けての感想

1) 八戸市みなと体験学習館	<p>非常食を食べられるという点には他にはない視点で利用できるかと思うが、全体的には他県の施設と似たり寄ったりの部分が多い。</p> <p>体験学習としてのコンテンツは感じられない。展示のみでは見学に長い時間かけられない。非常食レストランの活用・運用を重点的に。</p> <p>交通の便が悪い。PRの仕方に工夫が必要。インバウンド対応になっていない。非常食の出し方に工夫が必要。教育旅行として2Fを食の体験にする。ターゲットをしばる（FIT）。</p> <p>非常食レストランは良いが最新のものを取り入れるとなお良い。また、食事のスペースが少ない。見るものはすぐ見終わってしまう。貯蔵庫はプレミアム感がある。ワーキングスペース等があると良い。ターゲット層を明確に。パスが不可（団体は難しい）。歩いても見たいと思わせる必要がある。</p> <p>交通の便。PRの仕方。差別化できるセールスポイント。体験プログラム（ローリングプレイ、ゲーム形式などで）。ターゲットを明確に。インバウンドを意識するのであれば、表記など配慮すべき点は改善できる。</p>
2) 小袖海岸（海女さんの素潜り見学）	<p>大型バスが入れないのがネック。</p> <p>団体の回転がしにくい。平日の500円でウニは安い。</p> <p>FIT向け。インバウンドにも可能と思う。</p> <p>観光パスが難しい。あまちゃんを見ていない人は難しい？体験として、インバウンド向けに一緒に海女の服装、からむきができると良い。プライベートツアーで提案したい。</p> <p>見ている分には面白いがターゲットが限られるのでは？インフラ的に大人数の受け入れは厳しい。</p>
3) 普代水門	<p>ガイドの方の説明がもう少し詳しく知りたかった。水門を初めて見るのであれば、今回と反対側、海側からスタートしたほうが大きさをもっと体感できたと思う。</p> <p>事前学習（予備学習）が必要。普代水門の重要性は太田名部防潮堤と関連づけて1つのコンテンツとして普代村の過去の歴史と合わせて案内が必要と思う。役場の案内では、防潮堤に頼る事なく高台に逃げるように言うが、村民の避難場所の説明はとくに無い。</p> <p>ガイドの育成が必要。60分くらいのガイドツアーとして磨き上げ。有料でお金をとってしっかりと行くと良い。</p> <p>視察・学習には良い。ただし、事前の情報（学習）が必要。受け入れ環境として、案内板の蜘蛛の巣を除去したり、ガイドさんもなれがが必要。実際の津波の高さを体感できるのは良い。</p> <p>どの層をターゲットに何を強みにして、どうアピールするか。迎え入れるための最低限の準備。想定される質問等にはスッと答えられる必要性。手造り感が否めなかった点、よりコンテンツとしては、洗練される必要がある。</p>
4) 太田名部防潮堤	<p>ガイドさんの話を聞いておいて、初めて理解が進み、見た感想が出てくる場所。見せるなら普代水門とあわせて見学という所だと思うが滞在時間を含めると、なかなか観光ルートには組み込みづらいかと感じた。</p> <p>普代水門と関連付けての案内が必要。普代水門の後の見学では見劣りしてしまう。田名部役場までの避難経路を実際歩いてみて、津波の到達スピードと歩くスピードの比較など組み込んだ体験プログラムなどがあると紹介しやすい。</p> <p>普代水門とセットで考える。高さが足りないことと新しい基準に対応する学びを組入れる。</p> <p>ガイド付きであれば良いかもしれません。見るだけの場合、インパクト・印象が少ない感じがした。</p>
5) 北山崎断崖クルーズ	<p>1周50分ということもあり、コースに組み込みやすいです。天気によって運行が決まるのでサブプランとして考えて利用するのが良いかと思う。（今回のような形）</p> <p>天候に左右されやすい点に難有り。荒天時の代案を組入れて構成たてないとキビシイと思う。また乗船できる人数も1バスくらいの為、教育旅行ではキビシイ。今回の見学に入っていないが浄土ヶ浜観光船のほうが利用には良い。</p> <p>台風やしけ時の欠航が心配。船もすぐゆれるので酔いられる方多い。内海の遊覧船を行程組みます。松島、浄土ヶ浜にします。</p> <p>波（海）を体感できる。海側から水門を見ると新しい角度で考えることができる。</p> <p>他の観光クルーズと比較しておそらく小規模な物、かつ松島等に比べたら知名度の部分も劣るとは感じるが、内容としてはスペクタルな絶景を体感でき非常に良いものだった。天候に左右され、晴れていても揺れは想像より強く、人によっては耐え難いものの可能性あり。</p>

6) たろう「学ぶ防災」ガイド

初日で感じた不満点等が全てクリアになっていて、ある意味一つの完成モデルとしてすぐにでもツアー等に組み込める、もしくは、むしろここをメインに持っていきける魅力があると感じた。中々インバウンドが来ないという話だったが、急に来た時に何もないと困るので、英語版の手ぬぐいなどやはりあった方は良いと思う。

既に完成されたコンテンツだと思う。教育旅行でもすぐに紹介・コース組み込みができる。震災から12年たっても、つねに新しいまちづくりを模索している様子（グリーンスローモビリティ試乗体験）は暗くなりがちな話題から、前向きに進んでいる事を感じる事が出来ると思う。

すでに完璧にできあがっているもので、すぐにでもツアーに組み込み可能。一般、学生どちらにも提案できる。インバウンド少ないそうだが、ツールを作成して売り込みすると良い。

外側と内側のギャップが良い。ガイドさんが慣れており、地域の情報も豊富に持っていた。外国語標記も良い。お客様に提案しやすいコンテンツ。

非常に洗練され、内容が充実、整備されたプログラムであった。ターゲットごとに想定できる求められることに対する準備が万全で、昨日巡った施設やガイドプログラムで感じた課題点が全てクリアになっていた。特に観光で訪れた人をマイナスで帰さないために工夫している点が良かった。

6 (一財) 3.11伝承ロード推進機構に対するご意見をお聞かせください。

今回はありがとうございました。田老での防災ツアーなど、体験ツアーがあれば是非参加したいと思います。

東日本大震災の悲惨さや、教訓は大事なのだが、震災を知らない子供達には、悲惨な出来事だけを伝えるのではなく、「生き残る為の教訓や知識」を伝える施設が増えると良いと思う。生き残る術を学べる事により、未来永劫大震災の事実を後世に残していけるのだと思う。これから先の未来に残すべきは、悲惨さのマイナス面より、プラスの発想が必要なのだと感じます。

今後、ツアーを組む際のアドバイザーとして各旅行会社へ提案等お願いします。研修中は大変ありがとうございました。お世話になりました。

この度はモニターツアーにご招待いただき誠にありがとうございました。訪問先では、今後の取り組みもお伺いすることができ、大変勉強になりました。インバウンド関係の部署にありますので、外国からのお客様に向け、コンテンツのブラッシュアップ、行程のルート設定等検討させていただきます。アンケートはオンラインでしたほうが良いです。

現地に足を運んで学ぶということは、まさに百聞は一見にしかずの言葉通り換え難い経験であると思います。引き続き活動のほう頑張ってくださいと思います。

3.11伝承ロード推進機構 台湾教育旅行招請行程

日程:2023年9月24日(日)~9月27日(水) 4日間

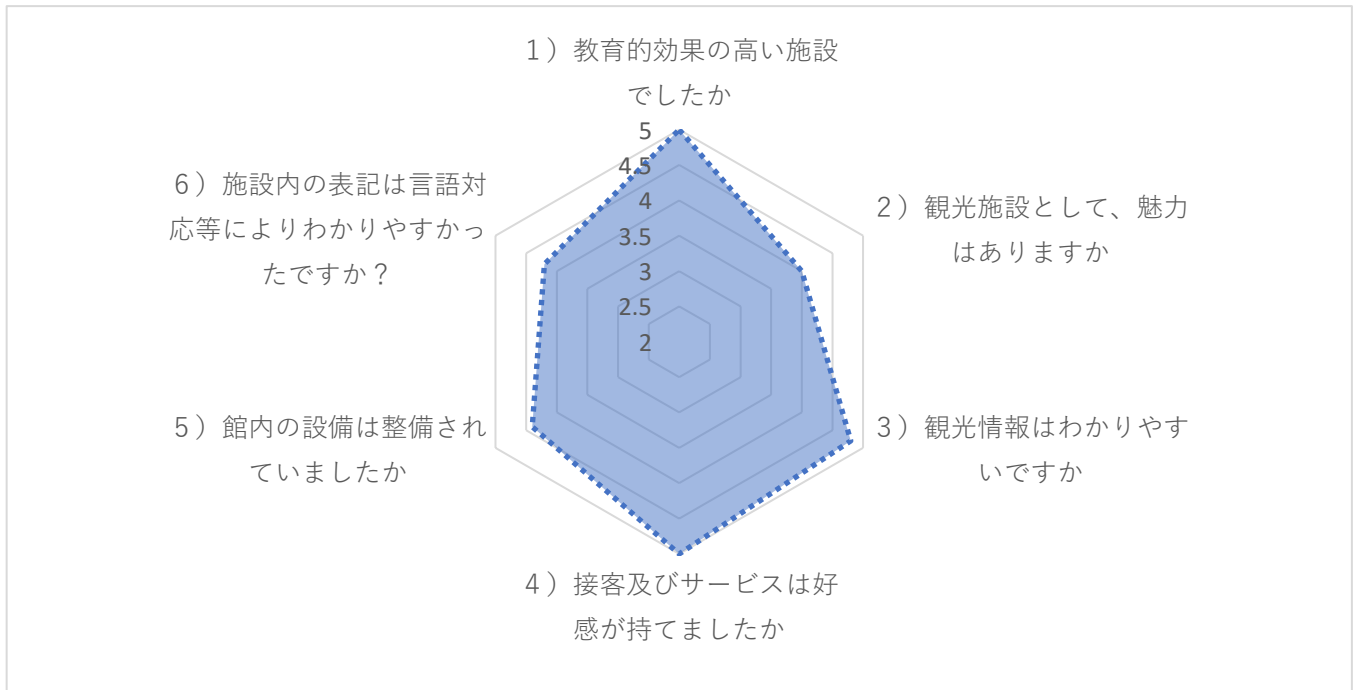
人員:台湾教育旅行招請者5名様、3.11伝承ロード推進機構1名、東北観光推進機構1名、通訳添乗1名

【スケジュール】

日付	場所	時刻(着/発)		移動	行程	食事	
9/24 (日)	台北空港		10:05	BR118	台北発、飛行機にて仙台空港へ	朝:一	
	仙台空港	14:35	15:00		仙台着		
	仙台	15:15	16:00	ワゴン	仙台空港発、震災遺構仙台市立荒浜小学校へ【震災学習】	昼:一	
	松島	17:00			ホテル着(ホテルにて夕食) (ホテル松島大観荘泊)	夕:○	
9/25 (月)	松島		8:45	ワゴン	ホテルにて朝食	朝:○	
		9:00	9:50		ホテル発		
	東松島 石巻 南三陸	10:00			語り部クルーズ(丸文松島汽船)	昼:○	
			12:00		クルーズ後、松島高校の生徒さんのご案内で 瑞巖寺、円通院、福浦橋【学校交流・見学】	夕:○	
		12:00	12:50		洗心庵にて昼食		
		13:30	14:30		奥松島にて体験学習視察【漁業体験、マリンスポーツ等】		
		15:00	15:30		みやぎ東日本大震災津波伝承館【震災学習】		
		15:30	17:00		石巻市震災遺構門脇小学校【震災学習】		
	17:00			視察後、いしのまき元気いちば經由南三陸へ 南三陸ホテル観洋 着(ホテルにて夕食) (南三陸ホテル観洋泊)			
9/26 (火)	南三陸		8:45	ワゴン	ホテルにて朝食	朝:○	
	陸前高田	9:10	10:15		ホテル発 南三陸病院		
		11:00	12:00		南三陸311メモリアル【震災学習】	昼:○	
	遠野	12:10	13:00			ワタミオーガニックランドで視察・昼食	
		14:00	15:00			東日本大震災津波伝承館へ【震災学習】	夕:○
		15:15	16:30			岩手県立遠野緑峰高等学校訪問【学校交流】	
	花巻	16:30				遠野ふるさと村にて体験学習視察【そばうち体験、昔話等】	
		17:30		体験後、ホテルへ 花巻温泉 着(ホテルにて夕食) (花巻温泉紅葉館泊)			
9/27 (水)	花巻		8:00	ワゴン	ホテルにて朝食	朝:○	
	平泉	8:40	10:15		ホテル発		
	仙台	11:30	12:00			中尊寺へ【見学】	昼:○
		12:00	13:00			見学後、宮城県表敬訪問	
		13:30	14:00			訪問後、昼食	夕:機内
	仙台空港	14:30				昼食後、仙台市表敬訪問 仙台国際空港へ	
台北空港		16:05	BR117	仙台発、飛行機にて台北へ			
		18:55		台北桃園空港着後、解散			

施設名：震災遺構仙台市立荒浜小学校【震災遺構見学】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	5
2) 観光施設として、魅力はありますか	4
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
5) 館内の設備は整備されていきましたか	4.4
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.2



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

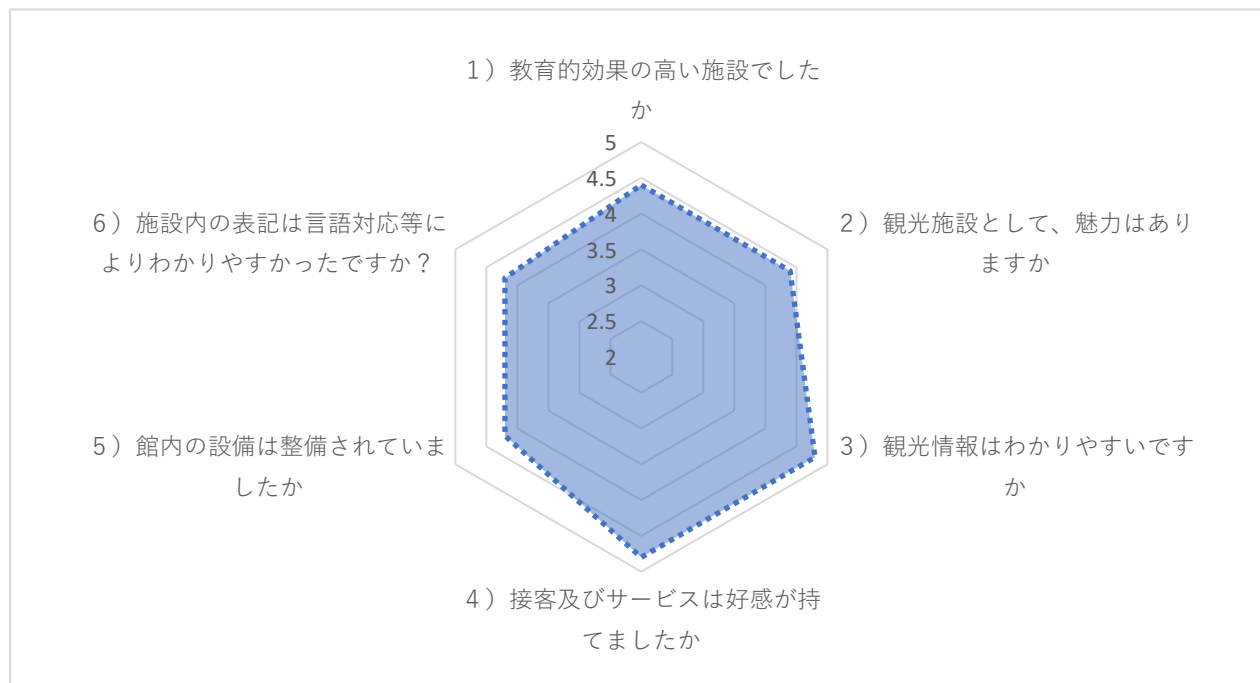
- 1、震災遺構で地震、津波からの防災教育がある。
- 2、防災教育や生命教育を教える学習の場として活用できる。
- 3、日本が今後の津波による被害を減らすために努力して収集し、自然の威力を検討し、各情報を次世代に引き継ぐ必要があると感じている。
- 4、3.11の日の津波の威力と破壊状況が分かりやすく、更に復興に日本の努力と苦労が見られた。
- 5、小学校内の建築物と物品はすべて適切に管理と保存されており、当時を体感できる。
- 6、震災予防の学習意義があり、学生がより命を大切にできるようにする。
- 7、当時の原形を残し、状況がわかりやすい。
- 8、防災教育や生命教育を教える学習の場として活用できる。
- 9、専門家の解説に合わせて、当時の状況をより具体的に想像することができる。
- 10、悲惨な経験ですが、生まれ変わる力が見えた。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、休憩室の提供。訪問者が消化できる程度の情報量。
- 2、QRでの翻訳等があれば、外国人のお客様はもっと理解ができる。

施設名：震災語り部クルーズ（丸文松島汽船）

1) 教育的効果の高い施設でしたか	4.4
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.4
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	4.8
5) 館内の設備は整備されていましたか	4.2
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.2



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

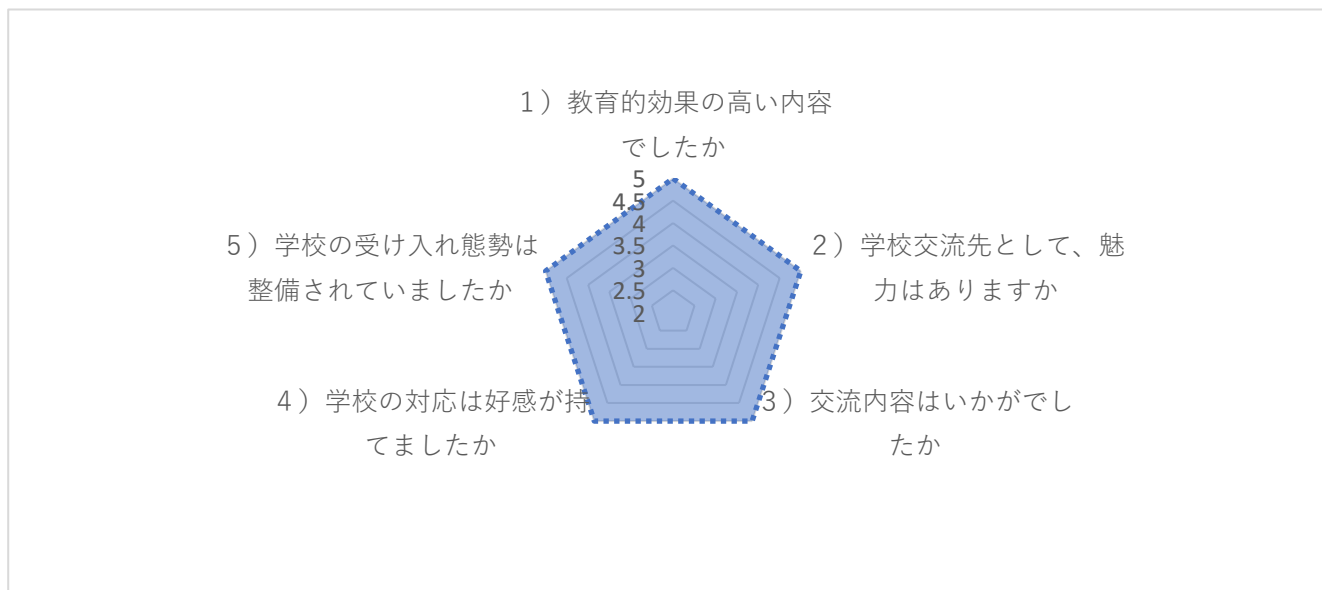
- 1、遊覧船に乗り、周りの各島々を観覧し、充分癒され、優雅な時間を過ごすことができる。
- 2、日本三景のひとつ・松島を知る
- 3、松島の美しい島や風景を学生に見せることができる
- 4、松島の島々は津波が発生した時に防潮堤の役割を果たすとともに、津波発生時の状況を理解することができた。
- 5、松島湾の景色を案内するのはすばらしく、商品やクイズ、無料のコーヒーもあり、語り部の方との交流や感想を共有することは非常に勉強になる。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか

- 1、対象が高校生の場合は、簡単に答えやすい質問とすることをお勧めします
- 2、語り部は学生さん向けかと思う。当時の内容もっと生き生きと、鮮やかにお話すること。生徒さんの学びに繋ぐことができるお話が聞けること。

施設名：松島高校おもてなしツアー（瑞巖寺、円通院、福浦橋）

1) 教育的効果の高い内容でしたか	5
2) 学校交流先として、魅力はありますか	5
3) 交流内容はいかがでしたか	5
4) 学校の対応は好感が持てましたか	5
5) 学校の受け入れ態勢は整備されていましたか	5



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

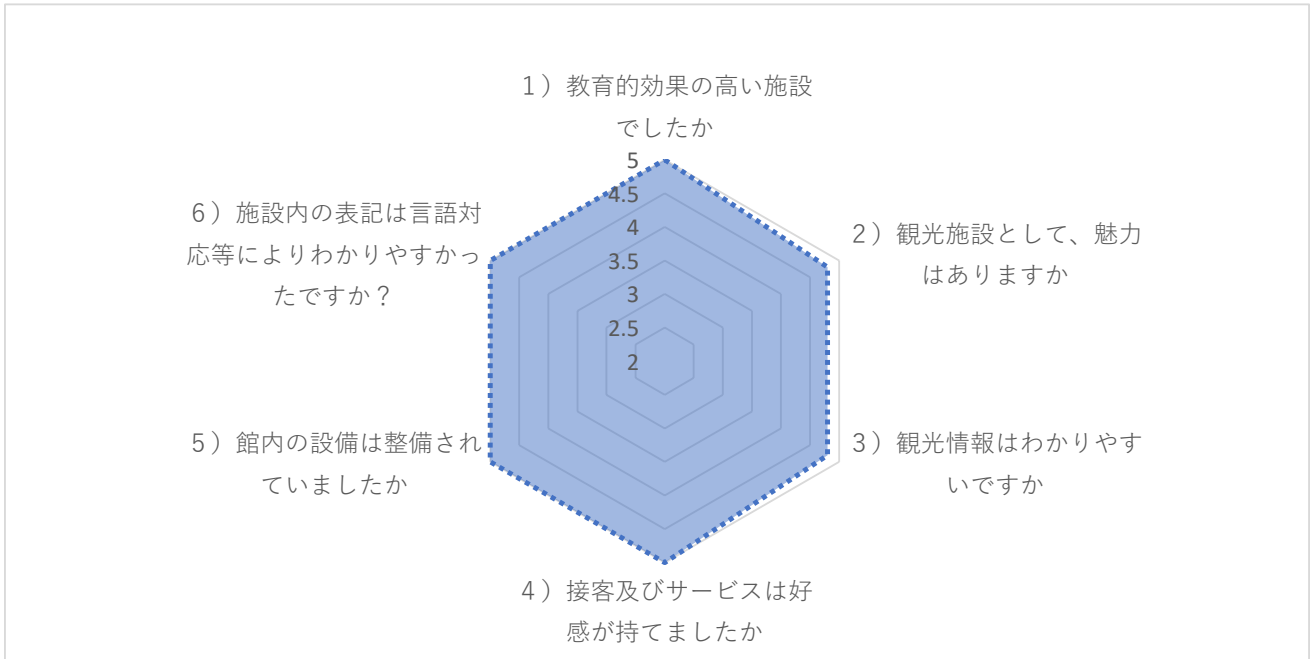
- 1、学生ガイドから直接話を聞けるのが台湾の学生にとって印象に残ると思う。
また歴史の魅力を感じることができる。
- 2、松島高校の事前準備の充実した内容で、分かりやすく、各観点の歴史において詳しく理解できた。
- 3、高校生2人が丁寧に解説してくれて素敵
- 4、松島高校生が地元の景観を紹介することで、生徒たちにより親しみを感じさせ、見学意欲を持たせることができる
- 5、歴史古跡はすべて教育的意義があり、学ぶ価値がある
- 6、隣には記念品ショップがあり、プラス効果があり、地元のお土産が購入できるのが素敵
- 7、このような指導方式は最高の勉強で、松島高校生の説明を通して、松島を知ってもらう。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、時間をもっと延ばしてもいいです。福浦橋はぜひ学生に体験させてください。
- 2、学生が訪問する際は、十分な時間をお土産屋さんを訪れることをお勧めします
- 3、対象が高校生の場合は、簡単に答えやすい質問を設計することをお勧めします

施設名：奥松島実践学習見学【漁業体験、アクティビティなど】（KIBOTCHA）

1) 教育的効果の高い施設でしたか	5
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.8
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
5) 館内の設備は整備されていましたか	5
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	5



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

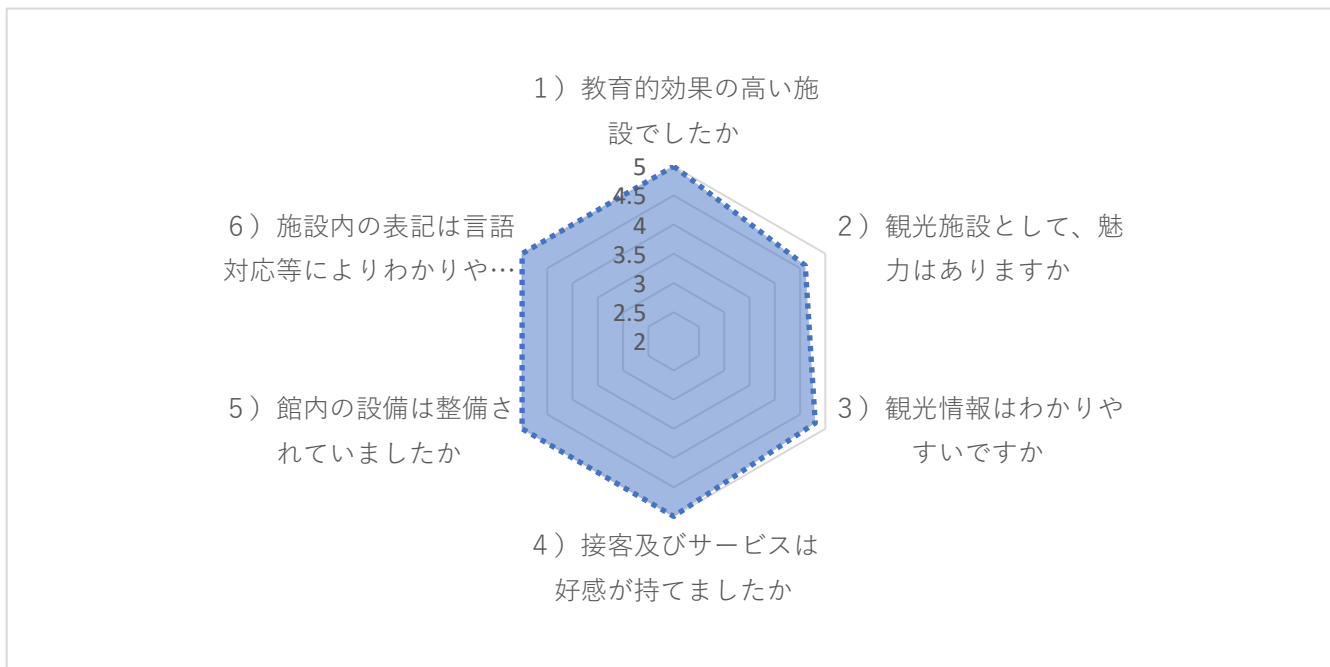
- 1、防災、避難教育施設はとても創造的、学生さんにとっては魅力的で学習しやすい。
- 2、屋外で、キャンプやキャンプファイヤー等の活動は若い学生さんには身近で受け入れやすい。
- 3、宿泊設備はユースホステルのように、最近の若者の旅行傾向にあった。
- 4、色々な体験、野外活動を通して避難についての知識や防災意識を高めることが出来る。
宿泊設備も整っている。
- 5、フロアごとに貸切できるので学校側の管理がしやすい
- 6、階下にレストランがあり広々としたスペースがとても便利
- 7、屋外会場なのでキャンプなどの運動にも利用でき、学生に非常に適しています。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

漁業体験や海上運動は、学生が十分に体験できるように計画しなければならない

施設名：みやぎ東日本大震災津波伝承館【震災遺構見学】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	5
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.6
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
5) 館内の設備は整備されておりましたか	5
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	5



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

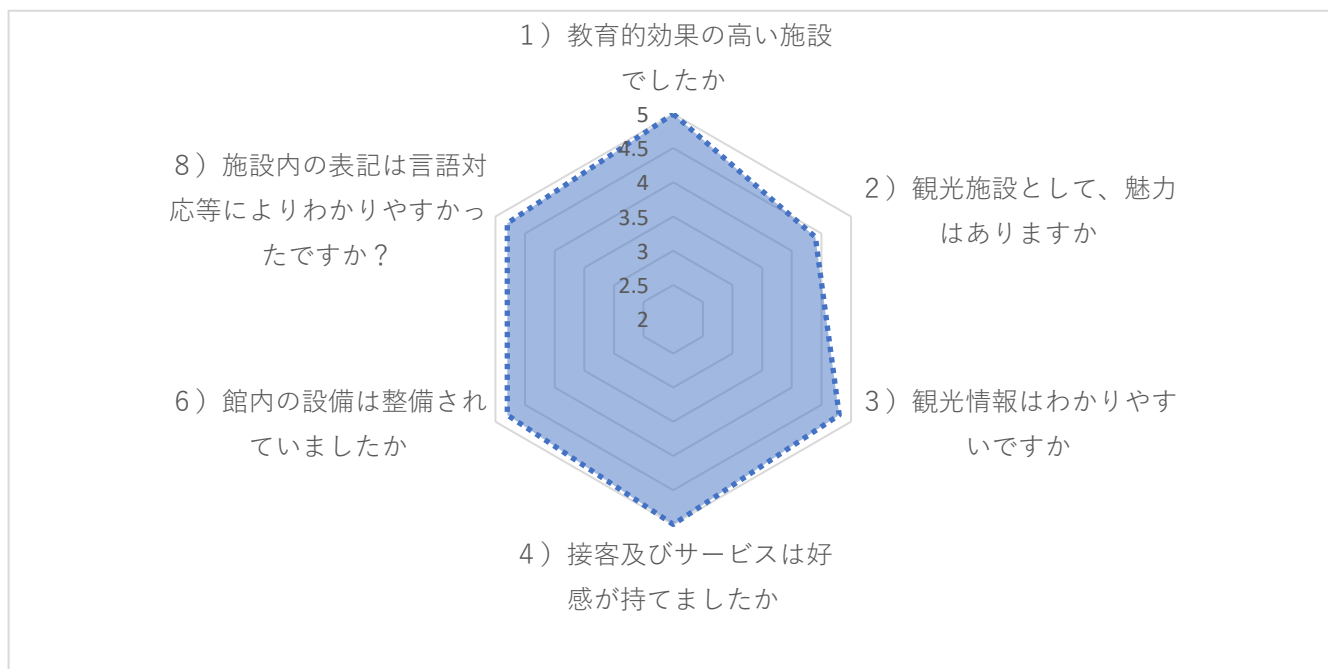
- 1、最新技術を活用し当時の様子を伝えていくことは、将来の子供達にとって最良の歴史教育である。
- 2、学生の防災意識を高め、命の尊さを分かりやすくすることができる。
- 3、受付担当者は専門的かつ親切に解説する。
- 4、歴史データと写真は論理的で、教育的意義がある。
- 5、統計データの分析・整理が完全で具体的で、わかりやすく、印象的である。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

中国語での説明があればもっといい

施設名：石巻市震災遺構門脇小学校【震災遺構見学】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	5
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.4
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
6) 館内の設備は整備されていましたか	4.8
8) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.8



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

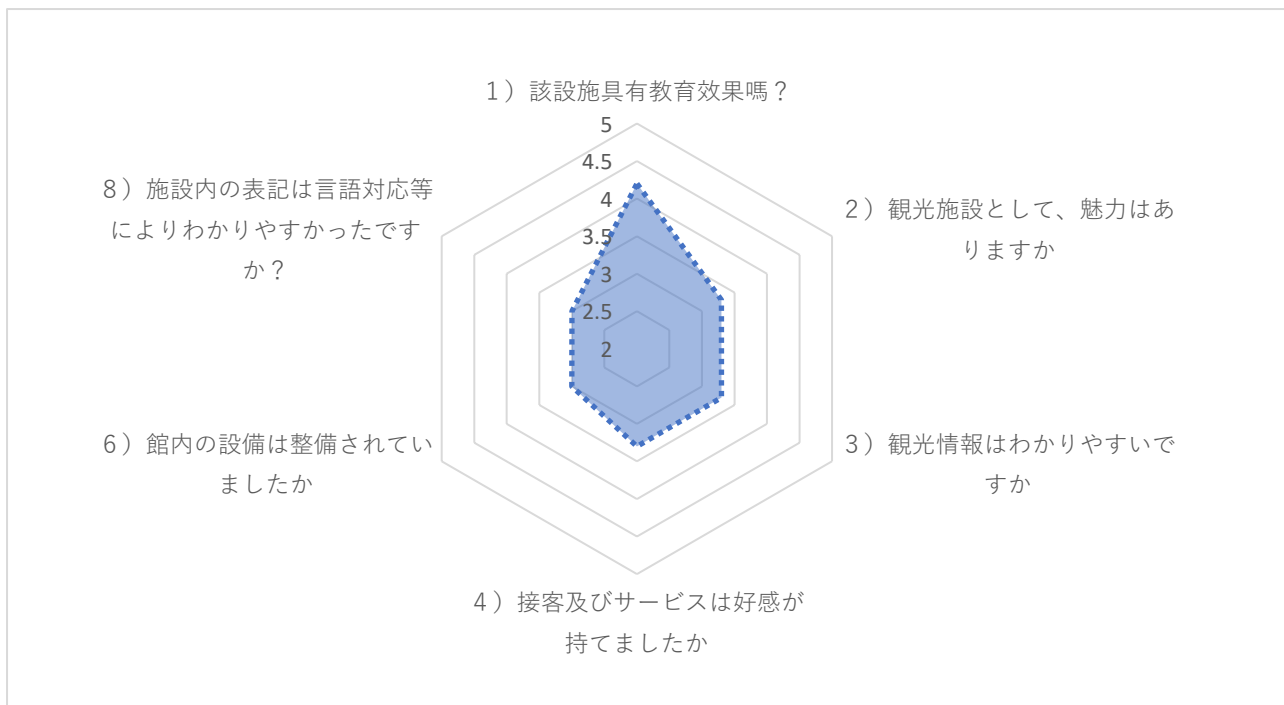
- 1、津波は水害だけでなく、火災による災害も引き起こすので、この遺構は訪れる価値がある。
- 2、3.11の状況を見て、自然の怖さを感じた。震災時にどうやって避難するか、命を守るかを考えさせられた。
- 3、学生の防災意識を高め、命の尊さを解き明かすことができる。
- 4、解説者の専門的な説明その境地を体験させる。
- 5、被災した建物を残して解説、補助写真で表現し、教訓を教え、未来に向かうことを世間に知らせ、生命教育の意義を極めて備えている。
- 6、悲惨な経験ですが、生まれ変わる力が見えた。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、できるなら、少し空いている場所に椅子を置く。
- 2、ガイド通訳機を提供すること、参観者が自分のペースで聞きたい解説を聴く。

施設名：南三陸病院

1) 該施設具有教育効果嗎？	4.2
2) 観光施設として、魅力はありますか	3.3
3) 観光情報はわかりやすいですか	3.3
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	3.3
6) 館内の設備は整備されていましたか	3
8) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	3



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

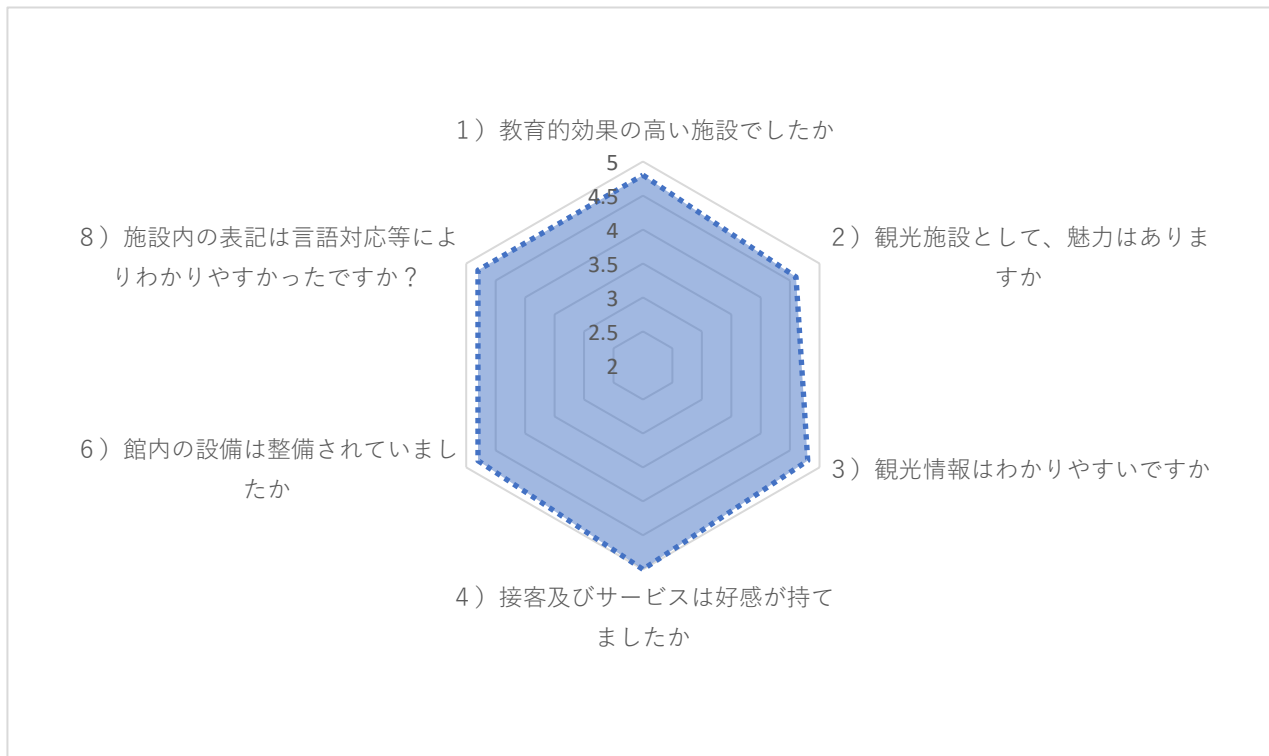
- 1、台湾の義援金で建てられた病院だから、台湾の学生さんには特別な意義がある。
- 2、台湾の学生にこの病院の再建は、台日双方が共同で完成したことを知ってもらう。
- 3、台湾の義援金で建てられた病院、南三陸の住民にとって不可欠な主要病院だと思った。
- 4、台湾の22億円の寄付金を使って建設されたことの説明があって、友情を大切にされていると親近感を感じた。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、病院の外でしか写真を撮ることができない場合、この場所は教育旅行として計画すべきではありません。
- 2、病院に入れないので具体的な感想がありません。
- 3、外から写真を撮っただけだったのが残念だった。

施設名：震災講話+バス車窓案内や南三陸311メモリアル【震災遺構見学】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	4.8
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.6
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
6) 館内の設備は整備されていきましたか	4.8
8) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.8



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

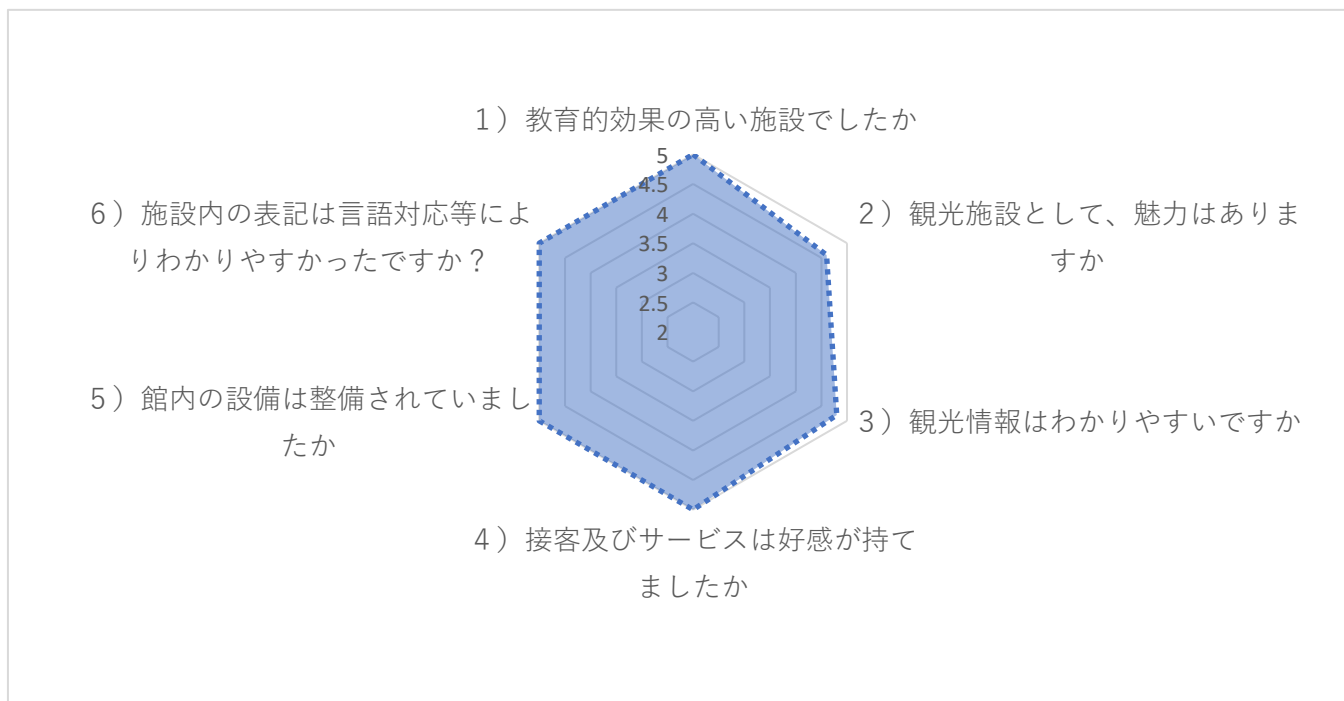
- 1、映像を見ながら、参観者にお互いが向き合って、問題について討論をすることで、内心の感想を言う機会があって、とても最高です。
- 2、学生の防災意識を高め、命の尊さを分かりやすくすることができる。
- 3、映像・音声コンテンツの作成に心がけ、設備が良好である。
- 4、「自然とは何か、生きるとは何か」を深く考えさせられた。諦めずに前向きに支え合っている姿が見れた。
- 5、解説の専門性と明確さ。
- 6、施設設備の計画が整っている。
- 7、すでに中国語版の紹介が素晴らしい。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、ビデオ鑑賞、作業指示書学習、グループディスカッションだけでは、教育旅行としての深さがやや不足。

施設名：東日本大震災津波伝承館【震災遺構見学】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	5
2) 観光施設として、魅力はありますか	4.6
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
5) 館内の設備は整備されていましたか	5
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	5



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

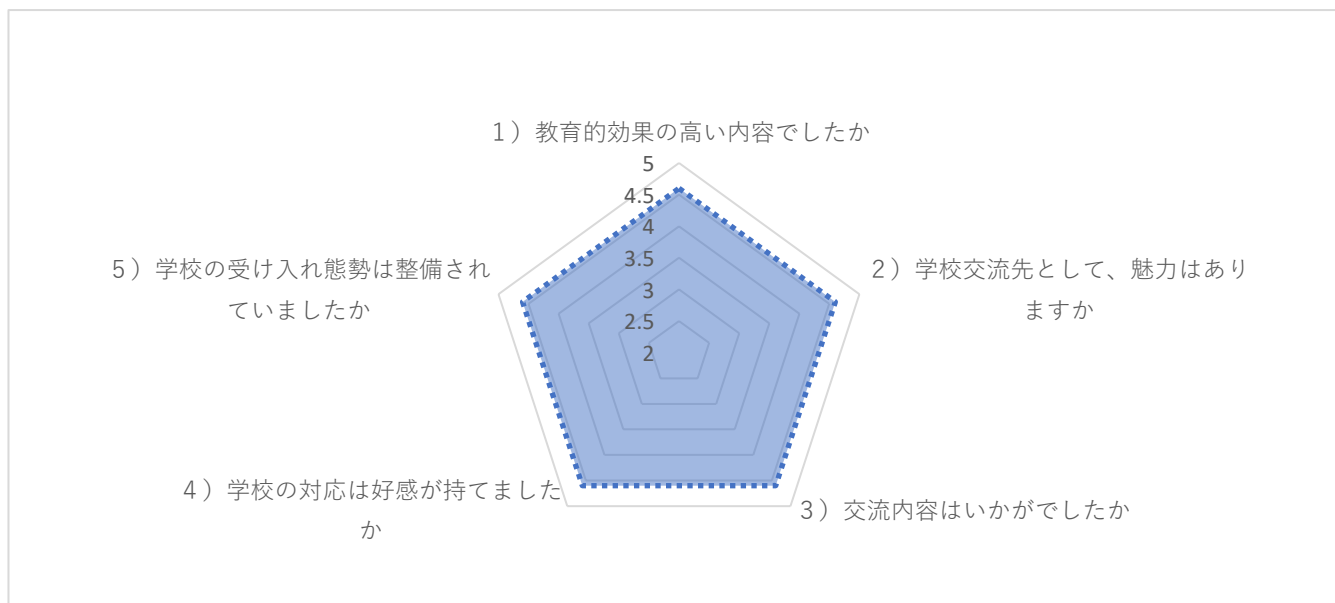
- 1、最新の科技設備を使い、津波の情報を呈し、相当魅力で人を惹きつける。
- 2、解説者が直接台湾華語で解説なら、分かりやすいです。
- 3、館内の多くの歴史データを伝承し、ガイドを加えることで、学生が多くのことを学ぶことができるはずです。
- 4、学生の防災意識を高め、命の尊さを解き明かすことができる。
- 5、高度な設計技術と311地震の詳細な記録。
- 6、史書データ及びビッグデータ分析の整理整頓。
- 7、解説が明瞭で専門的。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

(意見なし)

施設名：岩手県立遠野緑峰高等学校など訪問【学校交流】

1) 教育的効果の高い内容でしたか	4.6
2) 学校交流先として、魅力はありますか	4.6
3) 交流内容はいかがでしたか	4.6
4) 学校の対応は好感が持てましたか	4.6
5) 学校の受け入れ態勢は整備されていきましたか	4.6



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

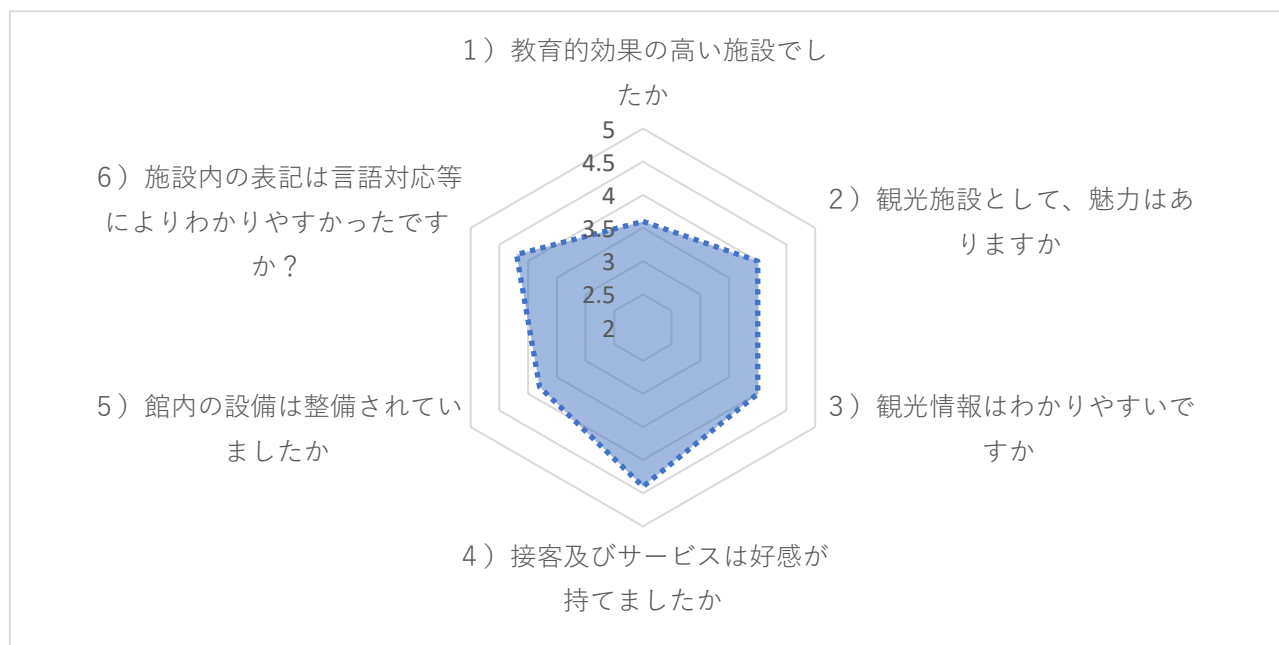
- 1、直接に教室に入って学生さんを間近に観る。
- 2、校長先生や副校長先生の説明が相当分かりやすく。
- 3、学生さんの交流機会を提供できる。
- 4、本市の意欲ある学校同士で交流してみたいかがでしょうか。
- 5、台日双方の学校の教育交流を行い、互いの教育環境と設備を理解し、異なる教育方式を体験することができる。
- 6、相手は詳しい学校紹介をしていない。
- 7、工業高校と近いような属性。
- 8、キャンパスは広く静かで、学生はかわいくて礼儀正しい。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

(意見なし)

施設名：遠野ふるさと村観察学習体験【昔ばなし等】

1) 教育的効果の高い施設でしたか	3.6
2) 観光施設として、魅力はありますか	4
3) 観光情報はわかりやすいですか	4
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	4.4
5) 館内の設備は整備されていきましたか	3.8
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.2



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

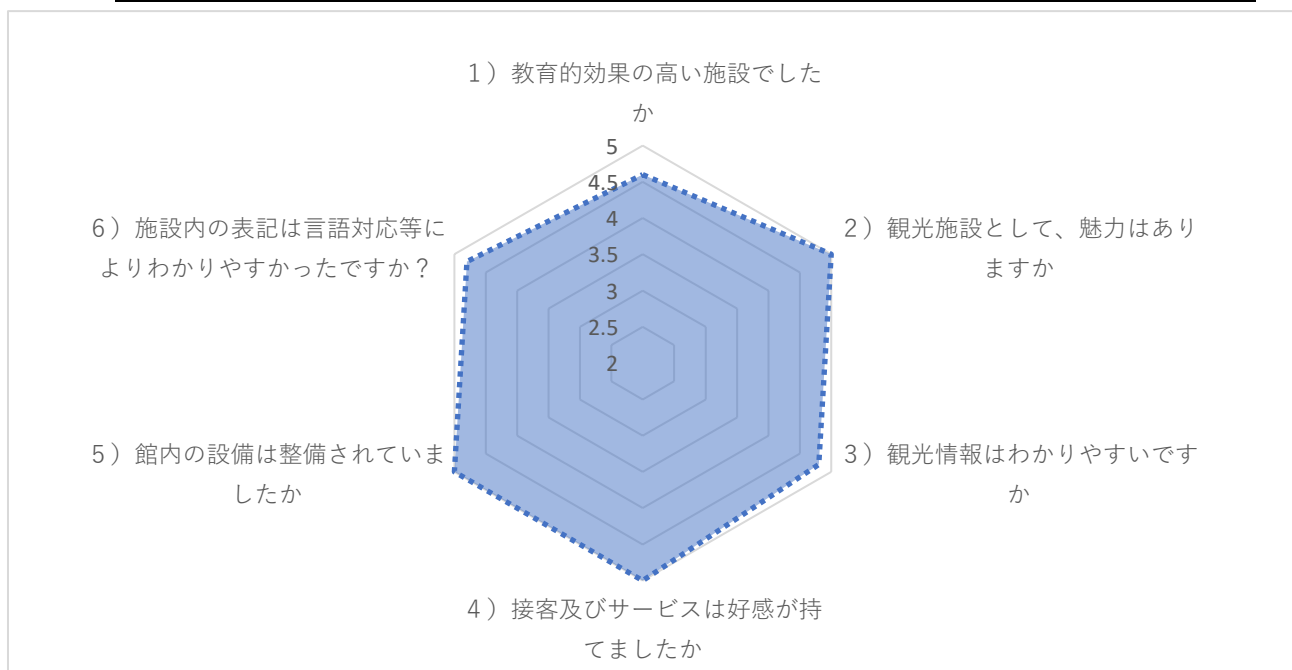
- 1、学生が日本の伝統食作りを実際に体験できる機会を与える。
- 2、日本の伝統的な家屋建築を見学させたり、現地環境の自然を体験させたりすることができます。
- 3、合掌造りは日本の特徴を持った伝統的な和風建築ですが、日差しが少なく暗い雰囲気があります。
- 4、環境が美しい。
- 5、接客スタッフの熱意、解説がはっきりしている。
- 6、建築は特色があり、古色の伝統的なスタイルを残している。

◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

- 1、あまり学生さんを惹きつけることがない。
- 2、もう少し明かりを明るくすることをお勧めします。
- 3、そば打ちを実際にどのようにするのかお手本を見たかった。

施設名：中尊寺

1) 教育的効果の高い施設でしたか	4.6
2) 観光施設として、魅力はありますか	5
3) 観光情報はわかりやすいですか	4.8
4) 接客及びサービスは好感が持てましたか	5
5) 館内の設備は整備されていましたか	5
6) 施設内の表記は言語対応等によりわかりやすかったですか？	4.8



◎教育旅行として訪問する際に魅力的な点は何ですか。

- 1、世界遺産は学生に紹介することができる。
- 2、日本の歴史が感じられる場所です。
- 3、中国語でコミュニケーションができて、とても親切です。
- 4、神社は日本文化を深く備えており、行程に組み込むことができる。
- 5、中国語解説DMは専門的ではっきりしている。
- 6、解説ガイドは専門的だ。
- 7、殿堂内で中国語解説が流れているのは素晴らしい。

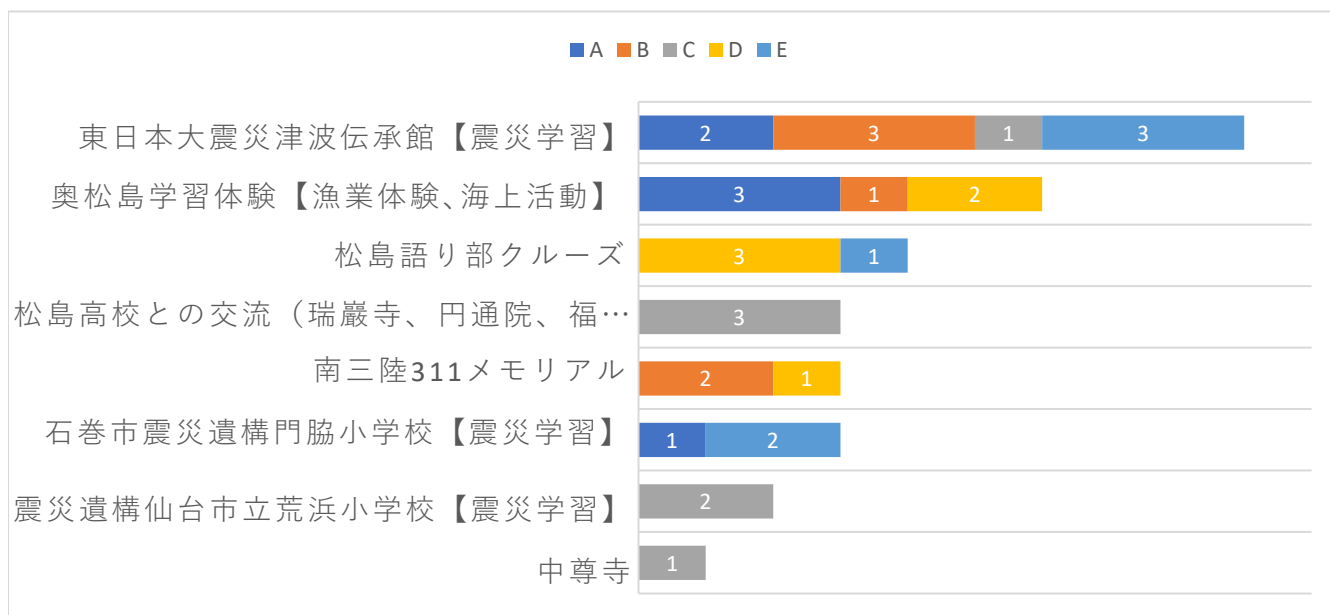
◎教育旅行として訪問する上で改善すべき点は何ですか。

行く前にバスの中で学生さんに歴史の意義を説明すべき。

訪問地・施設の中で貴国の教育旅行での訪問先としてお勧めの順位と理由をご記入下さい。

	A	B	C	D	E
中尊寺			1		
震災遺構仙台市立荒浜小学校【震災学習】			2		
石巻市震災遺構門脇小学校【震災学習】	1				2
南三陸311メモリアル		2		1	
松島高校との交流（瑞巖寺、円通院、福浦橋）			3		
松島語り部クルーズ				3	1
奥松島学習体験【漁業体験、海上活動】KIBOTCHA	3	1		2	
東日本大震災津波伝承館【震災学習】	2	3	1		3

1位3点、2位2点、3位1点で集計



コメント

東日本大震災津波

- 1、デジタル化、システム性を兼ね備えたデータは、学生にとって魅力的、勉強しやすい
- 2、311地震津波による被害を感じ、命を大切にすることを学ぶことができる
- 3、災害の恐ろしさを感じました。災害時にどうやって避難し、危険を減らす方法を考えるべき。
- 4、「自然とは何か、生きるとは何か」を深く考えさせられた。諦めずに前向きに支え合っている姿が見れた。
- 5、3.11の記録画像が沢山あって情報収集ができる
- 6、「生きるだけ幸せ」、最新デジタルを利用し、震災に関するの資料を保存される

奥松島KIBOTCHA

- 1、学生たちに役がたつ
- 2、多様なトレーニングと探検、宿泊と屋外での避難訓練を組み合わせ、清潔で静かな宿泊環境
- 3、KIBOTCHA宿泊施設は良好、海上及び体力活動を計画することができる

松島語り部クルーズ

- 1、日本三景のひとつで島の景色や寺院の建物が多く残る。
- 2、日本三景の一つ、必ず訪れたい名所
- 3、観光クルーズに乗って美しい湾の景色を楽しむのはとても癒される

松島高校との交流

- 1、日本、台湾との文化交流の価値がある，交流のスケジュールに入れられる
- 2、松島の美しい景色を体験でき、心身ともにリラックスできます

南三陸

- 1、災害の恐ろしさを感じました。災害時にどうやって避難し、危険を減らす方法を考えるべき。
- 2、「自然とともに生きて行く」ことについて色々考えさせられた。
諦めずお互いに支え合っている姿が見られた。
- 3、全311救済映画などの記録データを収集する
- 4、元々あるものと最新技術をうまく活かしながら震災に関しての資料が大切に保存されている。
「生きているだけで幸せ」だと感じた。

石巻震災遺構

- 1、震災後の状況を保存してるので，見学者が大自然の怖さを強く感じた
- 2、津波によるさまざまな災害を認識する

仙台市立荒浜小学校

311地震津波による被害を感じ、命を大切にすることを学ぶことができる

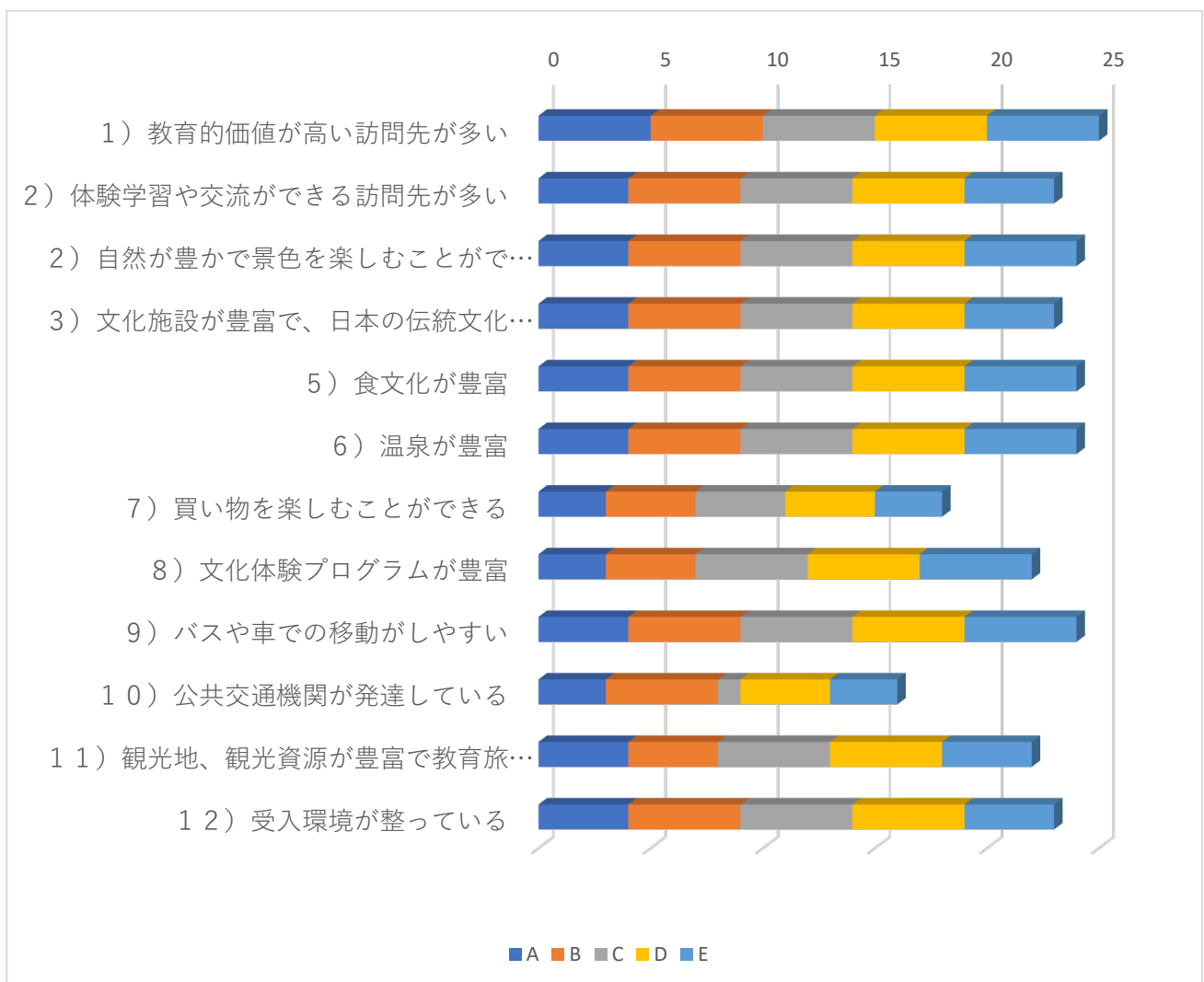
中尊寺

日本、台湾との文化交流の価値がある，交流のスケジュールに入れられる

今回モニターツアーを行ったエリアに対するイメージをお答えください。

それぞれの項目に対して5段階評価をお願いします（あてはまる数字に○をつけてください）

	A	B	C	D	E
1) 教育的価値が高い訪問先が多い	5	5	5	5	5
2) 体験学習や交流ができる訪問先が多い	4	5	5	5	4
2) 自然が豊かで景色を楽しむことができる	4	5	5	5	5
3) 文化施設が豊富で、日本の伝統文化を知ることができる	4	5	5	5	4
5) 食文化が豊富	4	5	5	5	5
6) 温泉が豊富	4	5	5	5	5
7) 買い物を楽しむことができる	3	4	4	4	3
8) 文化体験プログラムが豊富	3	4	5	5	5
9) バスや車での移動がしやすい	4	5	5	5	5
10) 公共交通機関が発達している	3	5	1	4	3
11) 観光地、観光資源が豊富で教育旅行に適している	4	4	5	5	4
12) 受入環境が整っている	4	5	5	5	4



<その他、今回感じた良いイメージ・悪いイメージについて自由にお書きください>

◎良いイメージ（リラックスできる・様々な食が堪能できる・トレッキングが楽しめる等）

- 1、非常に上手な通訳案内士が居て、常に私達に確実な、わかり易い情報を得ています。
- 2、原田様の行程企画と全行程に付き添っていただき、感謝致します。
- 3、伊達様の細かやかな思いやりと配慮をいただき、感謝致します。
- 4、たくさんのグルメを堪能できる、人々が温和で丁寧で熱意がある
- 5、地震津波の非情さを感じるが、日本人が災害から再生する強靱な生命力も見る
- 6、松島の美しい景色を見て、ホテルのグルメや温泉を楽しむことができる
- 7、至高のもてなしに感謝し、リラックスしている
- 8、3食の食事はおいしく、おいしいお酒を味わう
- 9、行く先々で景観が美しく、船に合わせてのんびり
- 10、耐震・津波対策の継承・承継の実施

◎悪いイメージ（雪道が危険・範囲が広く旅程が組みにくい等）

- 1、とても充実したスケジュールで、少し疲れましたが、収穫は大きかったです。
- 2、スケジュールが詰め込まれているからかもしれませんが、実際に体験できるスポットが少ない。
- 3、将来的に似たようなスケジュールがあれば、担当主任に先に体験してもらうこともできます。
- 4、スケジュールの観光地が多すぎて、時間が足りなくて、適度に休むことができません
- 5、これでより多くの教育旅行の計画のインスピレーションを持ち帰ることができるかもしれない

全体を通して視察した地域に教育旅行として訪問が見込めるかどうか、理由も含めお書き下さい。

(他の地域と比較して優れている点、改善が必要な点など)

初めて日本の東北に来て、伝統的なイメージが完全に覆えた。災害後は天を恨まず、楽観的に復興に対応し、自然と共存して、痛ましい記憶を再生の力に鍛える、教育旅行の精神にぴったりです。東京のテーマパークの手配に合わせて、学生に多様な勉強させることができると考える。

震災教育を教育旅行に取り入れ、台湾の学生に命の大切さを学び、今持っている人や物事を大切にするのに適している。

宮城県の防災教育及び伝承館は、いずれも生命教育の勉強をすることができ、極めて意義深い。

震災防止と津波予防のための防災教育が成功していることに感銘を受ける。人々に苦痛の教訓を覚え、悲しみを忘れ、素晴らしい未来を切り開く、素晴らしい生命教育を思い出させる。

今回訪れた宮城県や岩手県の多くの遺構、記念館、伝承館は、すべて当市の学校が教育旅行を計画している場所に組み込むことができ、その中で奥松島実践学習検査は、教育旅行の場所として最適で、この旅は、本当に多くのことを学ぶことができました。

松島は景色が美しく教育旅行（観光）に適している。

日本の宮城、岩手の美しい景色を台湾の学生に紹介し、日本東北の魅力をより認識させる。

宮城県と岩手県は気候がよく、非常に文化的な特色と美しい景色があり、人を引き付ける。

仙台市には名所旧跡や湾の美しさ、美食が多く、観光にも価値がある。

士林高商の教育旅行に参加するのは高校生。伝承館や遺構についての訪問はそれぞれ1カ所行程に入っていれば良い。さらに文化、農家、あるいは漁業体験の日本式生活コースを増やし、学生に異なる国の民情を体験させることができる。

大安高工はすでに2024年の宮城と岩手の教育旅行の計画を立てており、貴機関に協力して提案を提供してもらう。

将来、仙台市を再訪する際に仙台育英高校と交流して訪問する機会がある。